

RoHS

COSMIC

DFS5101/DFS5102

C5000 シリーズ

フレームシンクロナイザー・モジュール

取扱説明書

Ver 1.10

COSMIC

株式会社コスミックエンジニアリング

はじめにお読みください

ご使用上の注意

正しく安全にお使いいただくために、ご使用の前に必ずこの取扱説明書をお読みください。

お読みになった後は、必ず装置の近くの見やすいところに大切に保管してください。

絵表示について

この取扱説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。 内容をよく理解してから本文をお読みください。



警告

この表示内容を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を表しています。



注意

この表示内容を無視して誤った取り扱いをすると、人が損害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を表しています。



左の記号は注意（危険・警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。
図の中に具体的な注意内容が描かれています。



左の記号は禁止の行為であることを告げるものです。
図の中や近傍に具体的な禁止内容が描かれています。



左の記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。
図の中に具体的な指示内容が描かれています。

万一、製品の不具合や停電などの外的要因で映像や音声の品質に障害を与えた場合でも、本製品の修理以外の責はご容赦願います。



警告

■ 万一異常が発生したらそのまま使用しない

煙が出ている、変なにおいがする、異常な音がする。
このような時はすぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いたあと、
本製品を設置した業者またはメーカーに修理を依頼してください。



■ お客様による修理はしない

お客様による修理は危険ですので、絶対におやめください。



■ 不安定な場所に置かない

ぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所に置かないでください。
落ちたり倒れたりして、けがの原因となることがあります。



■ 内部に異物を入れない

通風口などから内部に金属類や燃えやすいものなどを差し込んだり、
落とし込んだりしないでください。火災・感電・故障の原因となります。
万一内部に異物が入った場合は、まず本体の電源を切り、電源プラグを
コンセントから抜いてください。



■ 本体フレーム等の天板等を外したり、改造をしない

内部には電圧の高い部分がありますので、触ると感電の原因となります。
機器を改造しないでください。火災・感電の原因となります。



■ ご使用は正しい電源電圧で

表示された電源電圧以外の電圧で使用しないでください。
火災・感電・故障の原因になります。



■ 雷が鳴り出したら電源プラグには触れない

火災・感電の原因になります。



■ 電源プラグはコンセントの奥まで確実に差し込む

ショートや発熱により、火災・感電の原因となります。



■ 電源ケーブルを傷つけない

電源ケーブルを加工しない。無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったりしない。
電源ケーブルの上に機器本体や重いものを載せない。
電源ケーブルを熱器具に近づけない。火災・感電の原因となります。



■ 機器の上に水や薬品等が入った容器を置かない

こぼれたり、中に入った場合、火災・感電・故障の原因となります。



■ 機器の上に小さな金属物を置かない

万一内部に異物が入った場合は、まず本体の電源を切り、電源プラグを本体
から抜いてください。火災・感電・故障の原因となります。





注意

■ 電源プラグを抜くときは

電源プラグを抜くときは電源ケーブルを引っ張らずに必ずプラグをもって抜いてください。ケーブルが傷つき、火災・感電の原因となります。



■ 濡れた手で電源プラグを抜き差ししない

感電の原因となることがあります。



■ 次のような場所には置かない

火災・感電の原因となります。
湿気やほこりの多いところ、直射日光の当たるところや暖房器具の近くなど
高温になるところ、油煙や湯気の当たるところ、水滴の発生しやすいところ。



■ 通風孔をふさがない

本体には内部の温度上昇を防ぐための通風孔が開けてありますので、次のような使い方はしないでください。内部に熱がこもり、火災の原因となります。
あお向け、横倒、逆さまにする。風通しの悪い狭い場所に押し込む。



■ 重いものを載せない

機器の上に重いものや本体からはみ出る大きなものを置かないでください。
バランスがくずれて倒れたり、落下して、けがの原因となります。



■ 機器の接続は説明書をよく読んでから接続する

本体の電源を切り、各々の機器の取扱説明書に従って接続してください。
指定以外のケーブルを使用したり延長したりすると発熱し、火災・やけどの原因となります。



■ 長時間使用しないときは電源プラグを抜く

安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
火災の原因となることがあります。



■ お手入れをする時は電源プラグを抜く

安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください。
感電の原因となることがあります。



仕様および外観は改良のため、予告無く変更することがあります。
本機を使用できるのは日本国内のみで、海外では使用できません。
海外仕様、DC入力仕様については弊社営業までお問い合わせ下さい。

目 次

表紙.....	1
はじめにお読みください.....	2
目次.....	5
1. 概要.....	9
2. 構成.....	9
3. 機能.....	9
4. ブロック図.....	11
5. 操作説明	12
5-1. フロント、リア入出力及び LED 表示	12
5-2. フロントモジュール設定.....	14
6. フレームへの取付方法	14
7. SNMP	15
8. コンフィグ設定ファイル・フォーマット	30
9. WebControl	36
9-1. モジュール画面.....	36
9-2. ステータス.....	36
9-2-1. SDI 入力 1	36
9-2-2. SDI 入力 1 ビット数.....	37
9-2-3. SDI 入力 1 カラー構成	37
9-2-4. リファレンス	37
9-2-5. SW1.....	37
9-2-6. SW3.....	37
9-2-7. LTC アンロックエラー	37
9-2-8. 現オーディオモード	37
9-2-9. 現プリセット	37
9-3. 各種設定	38
9-3-1. 基本設定.....	39
9-3-1-1. プリセット ロード.....	39
9-3-1-2. プリセット セーブ	39
9-3-1-3. 現設定をコンフィグファイルにセーブ	39
9-3-1-4. 初期設定に戻す	39
9-3-1-5. 入力 1 リレー切替	39
9-3-1-6. リファレンス選択	39
9-3-1-7. 水平位相、垂直位相	39
9-3-1-8. FS モード.....	39
9-3-1-9. 入力アンロック時の出力切断	40

9 - 3 - 1 - 1 0. 入力アンロック検出フレーム数	40
9 - 3 - 1 - 1 1. フリーズ動作	40
9 - 3 - 1 - 1 2. アンシラリー出力	40
9 - 3 - 1 - 1 3. システムフォーマット	40
9 - 3 - 1 - 1 4. マニュアルフリーズ	40
9 - 3 - 2. アラーム・トラップ設定	40
9 - 3 - 2 - 1. アラーム設定@SDI 入力 1 アンロックエラー	40
9 - 3 - 2 - 2. アラーム設定@リファレンスアンロックエラー	40
9 - 3 - 2 - 3. アラーム設定@LTC アンロックエラー	40
9 - 3 - 2 - 4. トラップ設定@SDI 入力 1 アンロックエラー	40
9 - 3 - 2 - 5. トラップ設定@リファレンスアンロックエラー	40
9 - 3 - 2 - 6. トラップ設定@LTC アンロックエラー	41
9 - 3 - 2 - 7. トラップ設定@オーディオモードチェンジ	41
9 - 3 - 3. GPIO 設定	41
9 - 3 - 3 - 1. GPI1 機能選択、GPI2 機能選択	41
9 - 3 - 3 - 2. GPO1 機能選択、GPO2 機能選択	41
9 - 3 - 4. タイムコード設定	42
9 - 3 - 4 - 1. ATC(LTC)出力	42
9 - 3 - 4 - 2. ATC(VITC)出力	42
9 - 3 - 4 - 3. TC 選択	42
9 - 3 - 4 - 4. ATC/LTC 内蔵 TC オフセット制御	42
9 - 3 - 4 - 5. ATC/LTC 内蔵 TC オフセット(時)/(分)/(秒)/(フレーム)	42
9 - 3 - 4 - 6. TC ロスト時動作	42
9 - 3 - 4 - 7. 内蔵 TC 初期値(時)/(分)/(秒)/(フレーム)	42
9 - 3 - 4 - 8. 内蔵 TC 初期値(BG1)～(BG8)、(BG フラグ)	42
9 - 3 - 4 - 9. 内蔵 TC フレーム初期値ロード設定	43
9 - 3 - 4 - 1 0. 内蔵 TC ドロップフレーム設定	43
9 - 3 - 4 - 1 1. 内蔵 TC 初期値ロード設定	43
9 - 3 - 4 - 1 2. 内蔵 TC 自走開始設定	43
9 - 3 - 4 - 1 3. 同 TC 検出時ロスト判定設定	43
9 - 3 - 4 - 1 4. ATC/LTC TC モード設定	43
9 - 3 - 5. 出力設定	43
9 - 3 - 5 - 1. 音声遅延(ms)	43
9 - 3 - 5 - 2. 輝度(*0.1%)	43
9 - 3 - 5 - 3. 再度(*0.1%)	43
9 - 3 - 5 - 4. 色相(*0.1°)	44
9 - 3 - 6. スーパー設定	44
9 - 3 - 6 - 1. SDI リモート録画制御	44
9 - 3 - 6 - 2. スーパー出力	44
9 - 3 - 6 - 3. スーパー静止画選択	44

9 - 3 - 6 - 4. スーパー位置(X)/(Y)	44
9 - 3 - 6 - 5. スーパーマスク 1~4 制御.....	44
9 - 3 - 6 - 6. スーパーマスク 1~4 左上(X)/左上(Y)/右下(X)/右下(Y)	44
9 - 3 - 7. 音声モード設定	45
9 - 3 - 7 - 1. 音声モード自動プリセット切替設定	45
9 - 3 - 7 - 2. 音声モード 1M/2M/3M/4M/1S/2S/1S+2M/5.1/5.1+S/その他音声モード プリセット値	45
9 - 3 - 7 - 3. 音声モードリプレース設定.....	45
9 - 3 - 7 - 4. 1M/2M/3M/4M/1S/2S/1S+2M/5.1/5.1+S リプレースマップ	45
9 - 3 - 8. エンベデッドオーディオ設定	46
9 - 3 - 8 - 1. エンベデッドオーディオ グループ 1~8 出力.....	46
9 - 3 - 8 - 2. エンベデッド CH01~CH32 入力ゲイン(*0.1dB)	46
9 - 3 - 8 - 3. エンベデッド CH01~CH32 出力ゲイン(*0.1dB)	46
9 - 3 - 9. テストトーン設定	47
9 - 3 - 9 - 1. テストトーン1 振幅(dBFS)	47
9 - 3 - 9 - 2. テストトーン1 周波数.....	47
9 - 3 - 9 - 3. テストトーン2 振幅(dBFS).....	47
9 - 3 - 9 - 4. テストトーン2 周波数.....	47
9 - 3 - 1 0. リマップ設定	47
9 - 3 - 1 0 - 1. リマップ出力 CH01~CH32	47
9 - 3 - 1 1. ダウンミックス設定	48
9 - 3 - 1 1 - 1. ダウンミックス CH01~CH32 ソース選択.....	49
9 - 3 - 1 1 - 2. ダウンミックス CH01~CH32 Lch 演算係数(*0.1dB).....	49
9 - 3 - 1 1 - 3. ダウンミックス CH01~CH32 Rch 演算係数(*0.1dB).....	49
9 - 3 - 1 1 - 4. ダウンミックス CH01~CH32 Lch 符号	49
9 - 3 - 1 1 - 5. ダウンミックス CH01~CH32 Rch 符号	49
9 - 3 - 1 2. 音声ミックス	50
9 - 3 - 1 2 - 1. 音声ミックス 1 CH01 ソース選択~音声ミックス 1 CH04 ソース選択.....	50
9 - 3 - 1 2 - 2. 音声ミックス 1 CH01 係数(*0.1dB)~音声ミックス 1 CH04 係数(*0.1dB)	50
9 - 4. 再起動設定	51
9 - 4 - 1. 再起動を許可.....	51
9 - 4 - 2. コントローラーの再起動	51
9 - 5. ログ設定	51
9 - 5 - 1. ログ件数	51
9 - 5 - 2. ログ更新時刻	51
9 - 5 - 3. ログファイル初期化	51
9 - 5 - 4. ログ取得	52
9 - 6. 製品情報	52
9 - 6 - 1. 製品 ID	52
9 - 6 - 2. 製品概要.....	52
9 - 6 - 3. Version (Firmware), Version (Hardware)	52

9 - 6 - 4. 占有スロット数	52
9 - 6 - 5. 別名	52
9 - 6 - 6. シリアル番号	52
9 - 6 - 7. スーパーオプション	52
1 0. 各種タイミングについて	53
1 0 - 1. AVDL モード引き込み範囲と入出力遅延	53
1 0 - 2. フレームシンクロナイズ・モード及び AAM モード入出力遅延	54
1 0 - 3. バイパス・モード入出力遅延	55
1 0 - 4. AAM モードでの音声ミュート時間	55
1 1. コネクター ピンアサイン表	56
1 2. 定格および電気的特性	57
1 3. お問い合わせ	59

1. 概要

- DFS5101 は C5000 モジュールシステムに搭載可能な 3G/HD/SD-SDI 信号に対応した 1 入力 4 出力を持つフレームシンクロナイザー・モジュールです。DFS5102 は、1 入力 4 出力と個別のリファレンス入力、リモート入力を持つフレームシンクロナイザー・モジュールです。
- C5000 シリーズ システムフレーム C5002 (2RU) , C5001 (1RU) に搭載可能です。
- 欧州 RoHS 指令に適合しております。

2. 構成

DFS5101,DFS5102 は本体と付属品で構成されています。

下記の表の通り揃っていることを確認してください。

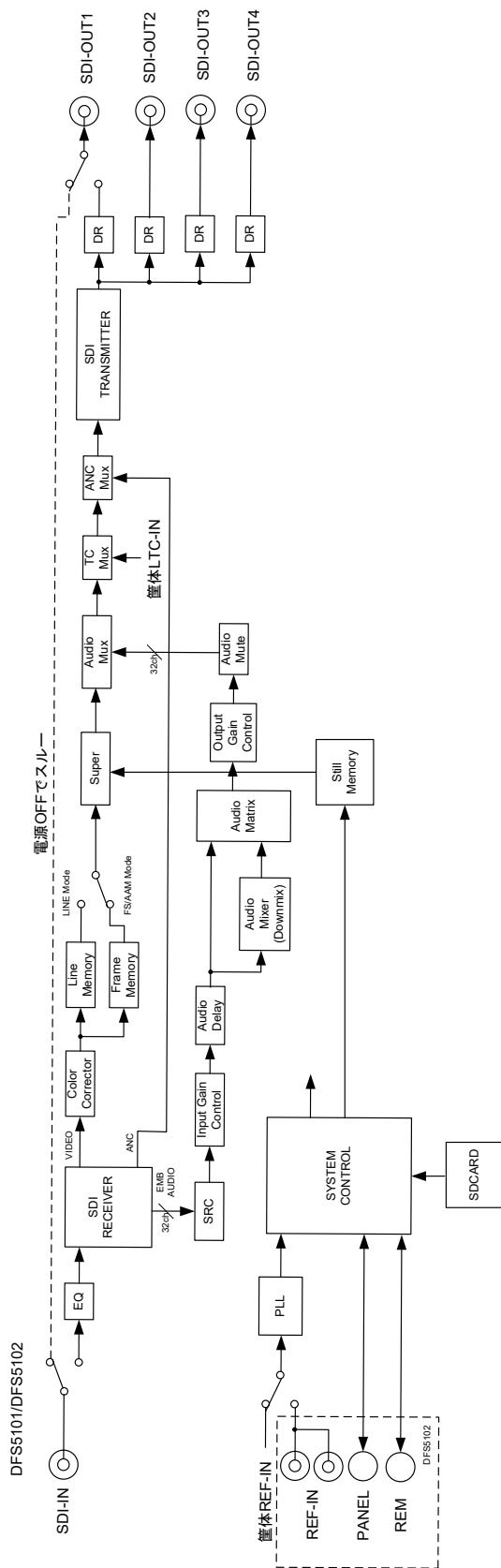
品名	型名	数量	備考
フレームシンクロナイザー・モジュール	DFS5101 又は DFS5102	1	本体
取扱説明書		1	本書
検査合格証		1	

3. 機能

- ・3G(レベル A/B)/HD/SD-SDI に対応し、入力レートを LED で表示します。点灯色は、「5. 操作説明」を参照してください。
- ・リファレンス信号の状態を LED で表示します。
- ・シンクロナイズ動作には 3 つのモードがあり、どのモードに設定されているか LED で表示します。
- ・筐体 LTC-IN に入力されたタイムコードを、タイムコードパケット(LTC/VITC, SMPTE ST12-2)として重畳することができます。
- ・エマージェンシースルー（電源 OFF 時）に対応します。DFS5101/DFS5102 は、電源 OFF 時（フロントモジュール未挿入時含む）に SDI-IN が SDI-OUT1 にスルーされます。
- ・フレームシンクロナイズ・モードでは最大 1 フレームの最小遅延で出力します。
- ・AVDL モードでは 10 ラインの引き込み範囲を搭載しています。
- ・エンベデッド・オーディオ 32ch に対応します。（SD/HD-SDI は 16ch まで、3G-SDI はレベル A/B 共に 32ch まで対応します。）
- ・リミッピング、ゲイン調整、ダウンミックス、任意チャンネルのミックス機能を装備しています。
- ・ゲイン調整は、-30.0dB～+20.0dB まで、0.1dB 単位で設定可能です。
- ・任意チャンネルのミックスは、4ch までの音声ソースをミックスすることができ、ミックスした音声を 8 通り作成することができます。その 8 通りのミックスした音声を出力にマッピングすることができます。
- ・システムフォーマットを設定することにより、PI 変換、フレームレート変換（フレーム間の補間はしません）を行うことができます。例として、システムフォーマットを 1080i59 に設定すると、1080p59A や 1080p50A で入力された映像は、PI 変換、フレームレート変換され常に 1080i59 フォーマットで出力されます。（オーディオ以外のアンシラリーデータの通過はサポートしません）
- ・カラー構成、ビット長が RGB444 10/12 ビット、YCbCr422 12 ビット、YCbCr444 10/12 ビットに対応します。
(カラーコレクション、PI 変換、フレームレート変換、スーパーインポーズには対応しません。)
- ・12 個のプリセットに各種設定を格納することができ、局間制御パケットのカレント音声モードによりプリセットの自動切り替えが可能です。
- ・接点入力によるプリセットの切替が可能です。
- ・音声遅延を 0ms～2sec まで 1ms ステップで付加することができる。

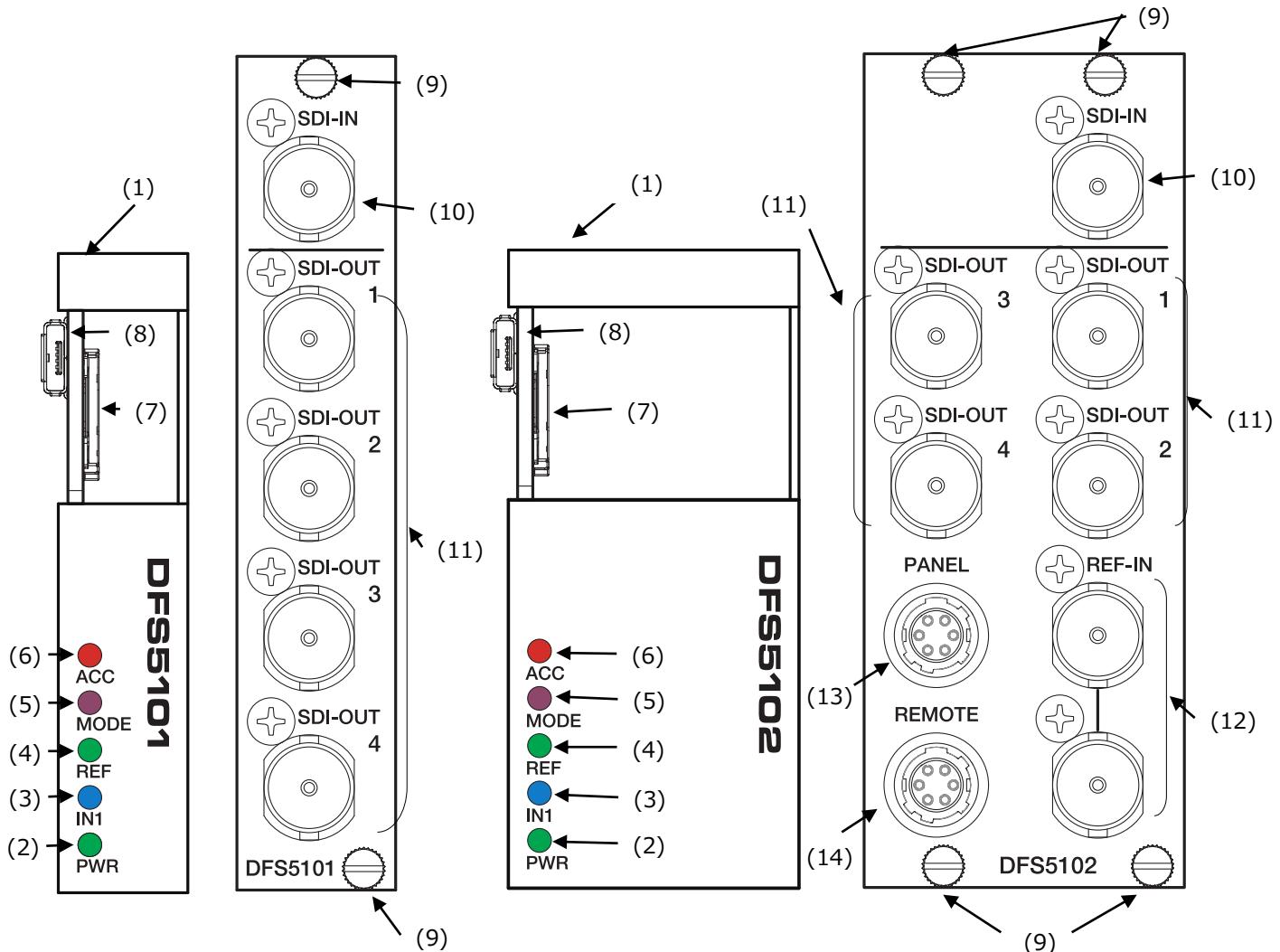
- ・輝度/色相/彩度等の調整が可能です。
- ・入出力フォーマットが同一時、オーディオ、タイムコード以外のアンシラリーデータはすべて通過します。（タイムコードは選択可能）
- ・パラメーターの設定は SD カード内の設定ファイルを直接編集又は、SNMP,WEB より設定します。
- ・各種設定の全項目の設定値と変化時刻、ステータスの変化と変化時刻をログに残し、WEB からダウンロードが可能です。ログは、最新の 10000 件を SD カードに保存しています。
- ・オプションパネル（外部制御パネル：RMT5001-DFS）を接続することができます。
- ・SNMP に対応しています。
- ・スーパーインポーズ用静止画を 4 枚登録でき、そのうちの 1 枚をスーパーインポーズ可能です。スーパーインポーズ時は AVDL モードのみ対応します。静止画は非圧縮 TARGA ファイルのみです。
- ・スーパーインポーズの ON/OFF は GPI 又は WEB で行います。
- ・スーパーインポーズのマスク領域を 4 か所登録でき、GPI 又は WEB で ON/OFF できます。
- ・スーパーインポーズ機能は、オプション機能です。

4. ブロック図



5. 操作説明

5-1. フロント、リア入出力及びLED表示



(1)フロントモジュール引き出し取っ手 (DFS5101,DFS5102 共通)

(2)電源ランプ 電源投入時 緑点灯 (DFS5101,DFS5102 共通)

(3)入力 1 レート LED (DFS5101,DFS5102 共通)

入力 1 信号のレートを LED 点灯色で表示します。

3G-SDI	---- 緑 点灯
HD-SDI	---- 青 点灯
SD-SDI/DVB-ASI	---- 紫 点灯
無信号	---- 消灯 (非対応フォーマット含む)

(4)REF LED(DFS5101,DFS5102 共通)

リファレンス信号の状態を LED で表示します。

リファレンス正常	---- 緑 点灯
リファレンス異常	---- 紫 点灯

(5) MODE LED(DFS5101, DFS5102 共通)

シンクロナイズ動作には 3 つのモードがあり、どのモードに設定されているか LED で表示します。

フレームシンクロナイズ・モード(FS)	----- 緑 点灯
自動音声ミュート・モード(AAM)	----- 紫 点灯
AVDL モード	----- 青 点灯
バイパス・モード	----- 消灯

(6) SD カードアクセス LED(DFS5101, DFS5102 共通)

SD カードのアクセス LED です。各種設定は SD カード内の設定ファイルに記述し、電源投入時、及び SD カード挿入時に SD カードからの設定ファイルの読み出しが行います。SD カードへのアクセス中は赤点灯し、読み出し、設定完了後、設定コマンドにエラーがなければ 1 秒間緑点灯、エラーがあった場合は、1 秒間紫点灯します。

(7) SD カードスロット(DFS5101, DFS5102 共通)

設定ファイルを格納する SD カードスロットです。(SD カードはマイクロ SD カードです)

(8) マイクロ A/B USB コネクター (DFS5101, DFS5102 共通)

内蔵プログラムアップデート用の USB コネクターです。(本バージョンでは未対応)

(9) リアモジュール固定ネジ DFS5101 2 力所 DFS5102 4 力所

(10) SDI 入力 1 (DFS5101, DFS5102 共通)

(11) SDI FS 出力 1~4(DFS5101, DFS5102 共通)

シンクロナイズされた SDI 出力が 4 分配出力されます。電源オフ時は、SDI 出力 1 に SDI 入力 1 がスルー出力されます。

(12) リファレンス入力 REF-IN (DFS5102)

DFS5102 には、モジュール専用のリファレンス入力とループスルー出力が装備されており、筐体に入力されたリファレンス入力に同期させるか、モジュールに入力されたリファレンスに同期させるか選択することができます。

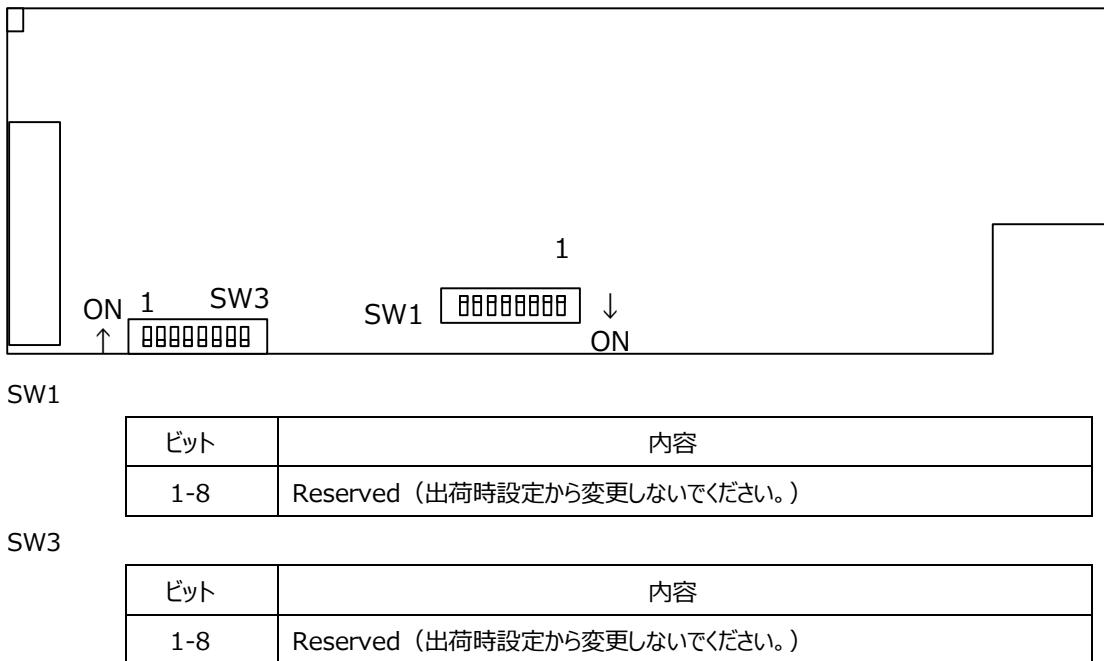
(13) リモートパネル接続コネクター PANEL(DFS5102)

将来リモートパネルを接続するためのコネクターで、現在は未使用です。外部制御パネル RMT5001-DFS はイーサネットでの接続となります。

(14) リモート GPIO コネクター REM(DFS5102)

汎用の GPI2 入力と汎用の GPO2 出力です。プリセットの切替、フリーズ動作、スルー動作、音声ミュート、TC 設定等を行なうことができます。

5 – 2. フロントモジュール設定



6. フレームへの取付方法

6-1 DFS5101 “1 スロット”, DFS5102 “2 スロット”以上の空きを確認してリアモジュールを実装します。

6-2 リアモジュールをスロットに挿入してリアモジュール固定ネジを DFS5101 2ヶ所、DFS5102 4ヶ所ネジ止めします。

6-3 リアモジュールのスロット番号を確認して DFS5102 は、若い番号のほうにフロントモジュールを挿入します。(スロット 9,10 の場合、スロット 9 に挿入)

7. SNMP

DFS5101/DFS5102 は SNMP による監視が可能です。

DFS5101 は、[1.3.6.1.4.1.47892.2.1.67.]、DFS5102 は[1.3.6.1.4.1.47892.2.1.68.] の後に、以下のオブジェクト識別子を加えて情報を取得します。index はスロット番号で、C5002 では 1~20、C5001 では 1~6 となります。Get/Set 項目の斜体太文字が初期値です。Trap 項目の○は、Get 項目の値が Trap に付加されるオブジェクトであることを示しています。

オブジェクト識別子	SYNTAX	ACESS	BYTE	内容	Get/Set 項目	Trap
ProductId 10.1.10.index	INTEGER	RO	4	プロダクト ID 情報	<i>DFS5101=67</i> <i>DFS5102=68</i>	
ProductDescr 10.1.11.index	OCTET STRING	RO	128	プロダクト説明	<i>DFS5101=" DFS5101 : 1 slot 3G/HD/SD-SDI Frame Synchronizer Module"</i> <i>DFS5102=" DFS5102 : 2 slot 3G/HD/SD-SDI Frame Synchronizer Module"</i>	
FwVer 10.1.12.index	OCTET STRING	RO	8	ファームウェアバージョン	–	
HwVer 10.1.13.index	OCTET STRING	RO	8	ハードウェアバージョン	–	
OccupiedSlot 10.1.14.index	INTEGER	RO	4	占有スロット数	<i>DFS5101=1</i> <i>DFS5102=2</i>	
AliasName 10.1.15.index	OCTET STRING	R/W	128	エリヤス名	–	
SerialNo 10.1.16.index	OCTET STRING	RO	16	シリアル・ナンバー	–	
SuperOption 10.1.18.index	INTEGER	RO	4	スーパーインポーズオプション	disable=1, enable=2	
AmodeReplaceCtl 20.1.10.index	INTEGER	R/W	4	音声モードによる自動リプレース制御	<i>off=1, on=2</i>	
AmodeReplaceMap1M 20.1.11.index	INTEGER	R/W	4	音声モード 1M 時のリプレース値	<i>m1M=1, m2M=2, m3M=3, m4M=4, m1S=9, m2S=10, m51=18, m1S2M=20, m51S=21</i>	
AmodeReplaceMap2M 20.1.12.index	INTEGER	R/W	4	音声モード 2M 時のリプレース値	<i>m1M=1, m2M=2, m3M=3, m4M=4, m1S=9, m2S=10, m51=18, m1S2M=20, m51S=21</i>	

オブジェクト識別子	SYNTAX	ACESS	BYTE	内容	Get/Set 項目	Trap
AmodeReplaceMap3M 20.1.13.index	INTEGER	R/W	4	音声モード 3M 時のリプレース値	m1M=1, m2M=2, m3M=3 , m4M=4, m1S=9, m2S=10, m51=18, m1S2M=20, m51S=21	
AmodeReplaceMap4M 20.1.14.index	INTEGER	R/W	4	音声モード 4M 時のリプレース値	m1M=1, m2M=2, m3M=3, m4M=4 , m1S=9, m2S=10, m51=18, m1S2M=20, m51S=21	
AmodeReplaceMap1S 20.1.15.index	INTEGER	R/W	4	音声モード 1S 時のリプレース値	m1M=1, m2M=2, m3M=3, m4M=4, m1S=9 , m2S=10, m51=18, m1S2M=20, m51S=21	
AmodeReplaceMap2S 20.1.16.index	INTEGER	R/W	4	音声モード 2S 時のリプレース値	m1M=1, m2M=2, m3M=3, m4M=4, m1S=9, m2S=10 , m51=18, m1S2M=20, m51S=21	
AmodeReplaceMap1S2 M 20.1.17.index	INTEGER	R/W	4	音声モード 1S+2M 時のリプレース値	m1M=1, m2M=2, m3M=3, m4M=4, m1S=9, m2S=10, m51=18, m1S2M=20 , m51S=21	
AmodeReplaceMap51 20.1.18.index	INTEGER	R/W	4	音声モード 5.1 時のリプレース値	m1M=1, m2M=2, m3M=3, m4M=4, m1S=9, m2S=10, m51=18 , m1S2M=20, m51S=21	
AmodeReplaceMap51S 20.1.19.index	INTEGER	R/W	4	音声モード 5.1+1S 時のリプレース値	m1M=1, m2M=2, m3M=3, m4M=4, m1S=9, m2S=10, m51=18, m1S2M=20, m51S=21	
OutputDisable 20.1.30.index	INTEGER	R/W	4	SDI 入力信号がアンロックの時出力を切断	Disable=1 , enable=2	
InputUnlockDetectFra mes 20.1.31.index	INTEGER	R/W	4	SDI 入力信号アンロック検出フレーム数(OutputDisable が enable 時有効)	0~1023	
In1RelayCtl 20.1.100.index	INTEGER	R/W	4	IN1 リレー設定	off=1, on=2	
RefSel 20.1.102.index	INTEGER	R/W	4	リファレンス選択	module=1, frame =2 , freeRun=3, In1=4	
PhaseOffsetH 20.1.103.index	INTEGER	R/W	4	水平方向出力位相	-1920~0~+1920 (pixel)	

オブジェクト識別子	SYNTAX	ACESS	BYTE	内容	Get/Set 項目	Trap
PhaseOffsetV 20.1.104.index	INTEGER	R/W	4	垂直方向出力位相	-600～0～+600 (line)	
FsMode 20.1.110.index	INTEGER	R/W	4	FS モード	fs=1 , line=2, aam=3, bypass=4	
FreezeCtl 20.1.111.index	INTEGER	R/W	4	フリーズ時の動作制御(OFF は黒 画面出力)	off=1, frame=2 , field=3	
AncOut 20.1.112.index	INTEGER	R/W	4	アンシラリイ制御	off=1, on=2	
SysFormat 20.1.113.index	INTEGER	R/W	4	システムフォーマット	auto=1 , f525I59=2, f625I50=3, f720P60=4, f720P59=5, f720P50=6, f720P30=7, f720P29=8, f720P25=9, f720P24=10, f720P23=11, f1080I60=12, f1080I59=13, f1080I50=14, f1080P30=15, f1080P29=16, f1080P25=17, f1080P24=18, f1080P23=19, f1080PSF24=20, f1080PSF23=21, f1080P60A=22, f1080P59A=23, f1080P50A=24, f1080P60B=25, f1080P59B=26, f1080P50B=27	
ManualFreeze 20.1.114.index	INTEGER	R/W	4	SNMP 又はリモコンによる出力フリ ーザ制御	off=1 , on=2	
OutAtcLtcEn 20.1.121.index	INTEGER	R/W	4	出力 ATC(LTC)の有効／無効	off=1 , on=2	
OutAtcVitcEn 20.1.122.index	INTEGER	R/W	4	出力 ATC(VITC)の有効／無効	off=1 , on=2	
TcSel 20.1.123.index	INTEGER	R/W	4	内蔵 TC の動作を設定	int=1 , in1Atc=2, LTC=3	
TcOffsetEn 20.1.124.index	INTEGER	R/W	4	内蔵 TC のオフセット制御	off=1 , on=2	
TcOffsetHH 20.1.125.index	INTEGER	R/W	4	内蔵 TC のオフセット値(時)	0 ～23	
TcOffsetMM 20.1.126.index	INTEGER	R/W	4	内蔵 TC のオフセット値(分)	0 ～59	
TcOffsetSS 20.1.127.index	INTEGER	R/W	4	内蔵 TC のオフセット値(秒)	0 ～59	
TcOffsetFR 20.1.128.index	INTEGER	R/W	4	内蔵 TC のオフセット値(フレーム)	0～2～29	

オブジェクト識別子	SYNTAX	ACESS	BYTE	内容	Get/Set 項目	Trap
TcLostAction 20.1.129.index	INTEGER	R/W	4	ATC/LTC 信号ロスト時の動作	autoRun=1, stop=2, noPacket=3, LTC=4	
TcInitHH 20.1.130.index	INTEGER	R/W	4	内蔵 TC への初期値(時)	0~23	
TcInitMM 20.1.131.index	INTEGER	R/W	4	内蔵 TC への初期値(分)	0~59	
TcInitSS 20.1.132.index	INTEGER	R/W	4	内蔵 TC への初期値(秒)	0~59	
TcInitFR 20.1.133.index	INTEGER	R/W	4	内蔵 TC への初期値(フレーム)	0~29	
TcInitBG1 20.1.134.index	INTEGER	R/W	4	内蔵 TC への初期値(BG1)	0~15	
TcInitBG2 20.1.135.index	INTEGER	R/W	4	内蔵 TC への初期値(BG2)	0~15	
TcInitBG3 20.1.136.index	INTEGER	R/W	4	内蔵 TC への初期値(BG3)	0~15	
TcInitBG4 20.1.137.index	INTEGER	R/W	4	内蔵 TC への初期値(BG4)	0~15	
TcInitBG5 20.1.138.index	INTEGER	R/W	4	内蔵 TC への初期値(BG5)	0~15	
TcInitBG6 20.1.139.index	INTEGER	R/W	4	内蔵 TC への初期値(BG6)	0~15	
TcInitBG7 20.1.140.index	INTEGER	R/W	4	内蔵 TC への初期値(BG7)	0~15	
TcInitBG8 20.1.141.index	INTEGER	R/W	4	内蔵 TC への初期値(BG8)	0~15	
TcInitBGF 20.1.142.index	INTEGER	R/W	4	内蔵 TC への初期値(BG flag)	0~7	
TcFrLoadEn 20.1.143.index	INTEGER	R/W	4	内蔵 TC への初期値フレーム値ロード設定	off=1, on=2	
TcDropFrEn 20.1.144.index	INTEGER	R/W	4	ドロップフレームの有効／無効 (自走時のみ有効)	off=1, on=2	
TcInitLoad 20.1.145.index	INTEGER	R/W	4	TC 自走時、初期値のロード設定	off=1, on=2	
TcRunEn 20.1.146.index	INTEGER	R/W	4	TC 自走開始	off=1, on=2	
TcSameLost :1 20.1.147.index	INTEGER	R/W	4	同じ TC 検出時ロストと判定するかしないか	off=1, on=2	

オブジェクト識別子	SYNTAX	ACESS	BYTE	内容	Get/Set 項目	Trap
TcDfNdfMode :1 20.1.148.index	INTEGER	R/W	4	TC モード設定(TC_SEL=IN1_ATC/LTC のみ有効)	df=1, ndf=2, in=3	
EmbOutG1En 20.1.200.index : EmbOutG8En 20.1.207.index	INTEGER	R/W	4	出力エンベデッドオーディオ グループ制御	off=1, on=2 (初期値 G1~G4=on, G5~G8=off)	
AmodePchgAuto 20.1.220.index	INTEGER	R/W	4	音声モードによる自動プリセット切替制御	off=1 , on=2	
Preset1M 20.1.221.index	INTEGER	R/W	4	音声モード 1M 時のプリセット	p01=1~p12=12 (初期値 p01)	
Preset2M 20.1.222.index	INTEGER	R/W	4	音声モード 2M 時のプリセット	p01=1~p12=12 (初期値 p02)	
Preset3M 20.1.223.index	INTEGER	R/W	4	音声モード 3M 時のプリセット	p01=1~p12=12 (初期値 p03)	
Preset4M 20.1.224.index	INTEGER	R/W	4	音声モード 4M 時のプリセット	p01=1~p12=12 (初期値 p04)	
Preset1S 20.1.225.index	INTEGER	R/W	4	音声モード 1S 時のプリセット	p01=1~p12=12 (初期値 p05)	
Preset2S 20.1.226.index	INTEGER	R/W	4	音声モード 2S 時のプリセット	p01=1~p12=12 (初期値 p06)	
Preset1S2M 20.1.227.index	INTEGER	R/W	4	音声モード 1S+2M 時のプリセット	p01=1~p12=12 (初期値 p07)	
Preset51 20.1.228.index	INTEGER	R/W	4	音声モード 5.1 時のプリセット	p01=1~p12=12 (初期値 p08)	
Preset51S 20.1.229.index	INTEGER	R/W	4	音声モード 5.1+S 時のプリセット	p01=1~p12=12 (初期値 p09)	
PresetOther 20.1.230.index	INTEGER	R/W	4	その他の音声モード時のプリセット	p01=1~p12=12 (初期値 p10)	
Gpi1Func 20.1.240.index	INTEGER	R/W	4	GPI1 機能選択	p01=1~p12=12, freeze=13, through=14, muteOn=15, tcSet=16, rmtRecTrig=18, pic1super=20, pic2super=21, pic3super=22, pic4super=23, mask1en=24, mask2en=25, mask3en=26, mask4en=27, non=32	

オブジェクト識別子	SYNTAX	ACESS	BYTE	内容	Get/Set 項目	Trap
Gpi2Func 20.1.241.index	INTEGER	R/W	4	GPI2 機能選択	p01=1~p12=12, freeze=13, through=14, muteOn=15, tcSet=16, rmtRecTrig=18, pic1super=20, pic2super=21, pic3super=22, pic4super=23, mask1en=24, mask2en=25, mask3en=26, mask4en=27, non=32	
Gpo1Func 20.1.250.index	INTEGER	R/W	4	GPO1 機能選択	p01=1~p12=12, freeze=13, through=14, muteOn=15, tcSet=16, rmtRecTrig=18, , pic1super=20, pic2super=21, pic3super=22, pic4super=23, sdiErr=24, refer=25, ltcErr=26, lineErr=27, non=32	
Gpo2Func 20.1.251.index	INTEGER	R/W	4	GPO2 機能選択	p01=1~p12=12, freeze=13, through=14, muteOn=15, tcSet=16, rmtRecTrig=18, , pic1super=20, pic2super=21, pic3super=22, pic4super=23, sdiErr=24, refer=25, ltcErr=26, lineErr=27, non=32	
RmtRecCtl 20.1.260.index	INTEGER	R/W	4	SDI リモート録画制御	off=1, on=2	
SuperEn 20.1.264.index	INTEGER	R/W	4	スーパー出力	off=1, on=2	
SuperSel 20.1.265.index	INTEGER	R/W	4	スーパー静止画選択	pic1=1, pic2=2, pic3=3, pic4=4	
SuperPosX 20.1.266.index	INTEGER	R/W	4	スーパー位置(X)	0~1919	
SuperPosY 20.1.267.index	INTEGER	R/W	4	スーパー位置(Y)	0~1079	
Mask1En 20.1.274.index	INTEGER	R/W	4	スーパーマスク 1	off=1, on=2	
Mask2En 20.1.275.index	INTEGER	R/W	4	スーパーマスク 2	off=1, on=2	
Mask3En 20.1.276.index	INTEGER	R/W	4	スーパーマスク 3	off=1, on=2	

オブジェクト識別子	SYNTAX	ACESS	BYTE	内容	Get/Set 項目	Trap
Mask4En 20.1.277.index	INTEGER	R/W	4	スーパーマスク 4	off=1, on=2	
PresetLoad 20.1.280.index	INTEGER	R/W	4	プリセットロード	p01=1~p12=12, non=13	
PresetSave 20.1.281.index	INTEGER	R/W	4	プリセットセーブ	p01=1~p12=12, non=13	
Mask1ULX 20.1.284.index	INTEGER	R/W	4	スーパーマスク 1 左上(X)	0~1919	
Mask1ULY 20.1.285.index	INTEGER	R/W	4	スーパーマスク 1 左上(Y)	0~1079	
Mask1DRX 20.1.286.index	INTEGER	R/W	4	スーパーマスク 1 右下(X)	0~1919	
Mask1DRY 20.1.287.index	INTEGER	R/W	4	スーパーマスク 1 右下(Y)	0~1079	
Mask2ULX 20.1.288.index	INTEGER	R/W	4	スーパーマスク 2 左上(X)	0~1919	
Mask2ULY 20.1.289.index	INTEGER	R/W	4	スーパーマスク 2 左上(Y)	0~1079	
Mask2DRX 20.1.290.index	INTEGER	R/W	4	スーパーマスク 2 右下(X)	0~1919	
Mask2DRY 20.1.291.index	INTEGER	R/W	4	スーパーマスク 2 右下(Y)	0~1079	
Mask3ULX 20.1.292.index	INTEGER	R/W	4	スーパーマスク 3 左上(X)	0~1919	
Mask3ULY 20.1.293.index	INTEGER	R/W	4	スーパーマスク 3 左上(Y)	0~1079	
Mask3DRX 20.1.294.index	INTEGER	R/W	4	スーパーマスク 3 右下(X)	0~1919	
Mask3DRY 20.1.295.index	INTEGER	R/W	4	スーパーマスク 3 右下(Y)	0~1079	
Mask4ULX 20.1.296.index	INTEGER	R/W	4	スーパーマスク 4 左上(X)	0~1919	
Mask4ULY 20.1.297.index	INTEGER	R/W	4	スーパーマスク 4 左上(Y)	0~1079	
Mask4DRX 20.1.298.index	INTEGER	R/W	4	スーパーマスク 4 右下(X)	0~1919	
Mask4DRY 20.1.299.index	INTEGER	R/W	4	スーパーマスク 4 右下(Y)	0~1079	

オブジェクト識別子	SYNTAX	ACESS	BYTE	内容	Get/Set 項目	Trap
CurrentEmb01InGain 20.1.300.index : CurrentEmb32InGain 20.1.331.index	INTEGER	R/W	4	エンベ入力 CH のゲイン調整 (x10dB を設定)	-500~0~500	
CurrentEmb01OutGain 20.1.350.index : CurrentEmb32OutGain 20.1.381.index	INTEGER	R/W	4	エンベ出力 CH のゲイン調整 (x10dB を設定)	-500~0~500	
CurrentTT1Amp 20.1.400.index	INTEGER	R/W	4	テストトーン 1 振幅(dB)	-63~-20~0	
CurrentTT1Freq 20.1.401.index	INTEGER	R/W	4	テストトーン 1 周波数	f400Hz=1, f800Hz=2, f1kHz=3 , f2kHz=4	
CurrentTT2Amp 20.1.402.index	INTEGER	R/W	4	テストトーン 2 振幅(dB)	-63~-20~0	
CurrentTT2Freq 20.1.403.index	INTEGER	R/W	4	テストトーン 2 周波数	f400Hz=1, f800Hz=2 , f1kHz=3, f2kHz=4	
CurrentRemapCh01 20.1.410.index : CurrentRemapCh32 20.1.441.index	INTEGER	R/W	4	リマップ出力 CH 選択 (外部出力)	emb01=1~emb32=32, tt1=49, tt2=50, dmxL=51, dmxR=52, mix1=53~mix8=60, Non=63 <i>(初期値 Ch01~16=ext01~ext16、Ch17~32=emb17~emb32)</i>	
CurrentDmxSSelCh01 20.1.500.index : CurrentDmxSSelCh32 20.1.531.index	INTEGER	R/W	4	ダウンミックス演算 CH ソース選択	emb01=1~emb32=32, tt1=49, tt2=50, non=63 <i>(初期値 Ch01~32=emb01~emb32)</i>	
CurrentDmxLCoeffCh01 20.1.532.index : CurrentDmxLCoeffCh32 20.1.563.index	INTEGER	R/W	4	ダウンミックス Lch 演算 CH 係数 (x10dB を設定)	-126~0, Zero=-127	

オブジェクト識別子	SYNTAX	ACESS	BYTE	内容	Get/Set 項目	Trap
CurrentDmxRCoeffCh01 20.1.564.index : CurrentDmxRCoeffCh32 20.1.595.index	INTEGER	R/W	4	ダウンミックス Rch 演算 CH 係数 (x10dB を設定)	-126~0, Zero=-127	
CurrentDmxLSignCh01 20.1.600.index : CurrentDmxLSignCh32 20.1.631.index	INTEGER	R/W	4	ダウンミックス Lch 演算 CH 係数 符号	-1, 1	
CurrentDmxRSignCh01 20.1.632.index : CurrentDmxRSignCh32 20.1.663.index	INTEGER	R/W	4	ダウンミックス Rch 演算 CH 係数 符号	-1, 1	
CurrentMix1SSelCh01 20.1.700.index : CurrentMix1SSelCh04 20.1.703.index	INTEGER	R/W	4	音声ミックス 1 CH ソース選択	emb01=1~emb32=32, tt1=49, tt2=50, mute=63	
CurrentMix1CoefCh01 20.1.704.index : CurrentMix1CoefCh04 20.1.707.index	INTEGER	R/W	4	音声ミックス 1 CH 係数(x10dB を設定)	-126~0, Zero=-127	
CurrentMix2SSelCh01 20.1.710.index : CurrentMix2SSelCh04 20.1.713.index	INTEGER	R/W	4	音声ミックス 2 CH ソース選択	emb01=1~emb32=32, tt1=49, tt2=50, mute=63	
CurrentMix2CoefCh01 20.1.714.index : CurrentMix2CoefCh04 20.1.717.index	INTEGER	R/W	4	音声ミックス 2 CH 係数(x10dB を設定)	-126~0, Zero=-127	

オブジェクト識別子	SYNTAX	ACESS	BYTE	内容	Get/Set 項目	Trap
CurrentMix3SSelCh01 20.1.720.index : CurrentMix3SSelCh04 20.1.723.index	INTEGER	R/W	4	音声ミックス 3 CH ソース選択	emb01=1~emb32=32, tt1=49, tt2=50, mute=63	
CurrentMix3CoefCh01 20.1.724.index : CurrentMix3CoefCh04 20.1.727.index	INTEGER	R/W	4	音声ミックス 3 CH 係数(x10dB を設定)	-126~0, Zero=-127	
CurrentMix4SSelCh01 20.1.730.index : CurrentMix4SSelCh04 20.1.733.index	INTEGER	R/W	4	音声ミックス 4 CH ソース選択	emb01=1~emb32=32, tt1=49, tt2=50, mute=63	
CurrentMix4CoefCh01 20.1.734.index : CurrentMix4CoefCh04 20.1.737.index	INTEGER	R/W	4	音声ミックス 4 CH 係数(x10dB を設定)	-126~0, Zero=-127	
CurrentMix5SSelCh01 20.1.740.index : CurrentMix5SSelCh04 20.1.743.index	INTEGER	R/W	4	音声ミックス 5 CH ソース選択	emb01=1~emb32=32, tt1=49, tt2=50, mute=63	
CurrentMix5CoefCh01 20.1.744.index : CurrentMix5CoefCh04 20.1.747.index	INTEGER	R/W	4	音声ミックス 5 CH 係数(x10dB を設定)	-126~0, Zero=-127	
CurrentMix6SSelCh01 20.1.750.index : CurrentMix6SSelCh04 20.1.753.index	INTEGER	R/W	4	音声ミックス 6 CH ソース選択	emb01=1~emb32=32, tt1=49, tt2=50, mute=63	

オブジェクト識別子	SYNTAX	ACESS	BYTE	内容	Get/Set 項目	Trap
CurrentMix6CoefCh01 20.1.754.index : CurrentMix6CoefCh04 20.1.757.index	INTEGER	R/W	4	音声ミックス 6 CH 係数(x10dB を設定)	-126~0, Zero=-127	
CurrentMix7SSelCh01 20.1.760.index : CurrentMix7SSelCh04 20.1.763.index	INTEGER	R/W	4	音声ミックス 7 CH ソース選択	emb01=1~emb32=32, tt1=49, tt2=50, mute=63	
CurrentMix7CoefCh01 20.1.764.index : CurrentMix7CoefCh04 20.1.767.index	INTEGER	R/W	4	音声ミックス 7 CH 係数(x10dB を設定)	-126~0, Zero=-127	
CurrentMix8SSelCh01 20.1.770.index : CurrentMix8SSelCh04 20.1.773.index	INTEGER	R/W	4	音声ミックス 8 CH ソース選択	emb01=1~emb32=32, tt1=49, tt2=50, mute=63	
CurrentMix8CoefCh01 20.1.774.index : CurrentMix8CoefCh04 20.1.777.index	INTEGER	R/W	4	音声ミックス 8 CH 係数(x10dB を設定)	-126~0, Zero=-127	
CurrentAudioDelay 20.1.780.index	INTEGER	R/W	4	音声遅延(ms)	0~ 32 ~2000	
CurrentLuminance 20.1.790.index	INTEGER	R/W	4	輝度設定(%) X10 倍の値を設定	0~ 1000 ~2000	
CurrentSaturation 20.1.791.index	INTEGER	R/W	4	彩度設定(%) X10 倍の値を設定	0~ 1000 ~2000	
CurrentHue 20.1.792.index	INTEGER	R/W	4	色相設定(度) X10 倍の値を設定	-1800~ 0 ~1800	
AlarmEnIntComm 20.1.800.index	INTEGER	R/W	4	内部バス通信エラーアラームイネー ブル	disable=1 , enable=2	
AlarmEnSDIIn1Unlock 20.1.802.index	INTEGER	R/W	4	SDI IN1 アンロックアラームイネー ブル	disable=1 , enable=2	
AlarmEnRefUnlock 20.1.804.index	INTEGER	R/W	4	REF アンロックアラームイネーブル	disable=1 , enable=2	

オブジェクト識別子	SYNTAX	ACESS	BYTE	内容	Get/Set 項目	Trap
AlarmEnLtcUnlock 20.1.805.index	INTEGER	R/W	4	LTC アンロックアラームイネーブル	disable=1 , enable=2	
TrapEnSDIIn1Unlock 20.1.851.index	INTEGER	R/W	4	SDI IN1 アンロックトランプイネーブル	disable=1 , enable=2	
TrapEnRefUnlock 20.1.853.index	INTEGER	R/W	4	REF アンロックトランプイネーブル	disable=1 , enable=2	
TrapEnLtcUnlock 20.1.854.index	INTEGER	R/W	4	LTC アンロックトランプイネーブル	disable=1 , enable=2	
TrapEnAudioModeChange 20.1.855.index	INTEGER	R/W	4	オーディオモードチェンジトランプイネーブル	disable=1 , enable=2	
SetDefault 20.1.900.index	INTEGER	R/W	4	デフォルト設定に戻す	no=1 , yes=2	
ConfigFileWrite 20.1.901.index	INTEGER	R/W	4	現在の設定をコンフィグ設定ファイルに書き込む	no=1 , yesP01=2～yesP12=13	
AllowReboot 28.1.910.index	INTEGER	R/W	4	リブート許可	no=1 , yes=2	
Reboot 28.1.911.index	INTEGER	R/W	4	リブート実行	no=1 , yes=2	
LogCount 29.1.10.index	INTEGER	RO	4	ログ件数	0～10000	
LogUpdateTime 29.1.11.index	INTEGER	RO	4	ログ変更時刻	—	
LogReset 29.1.900.index	INTEGER	R/W	4	ログファイル初期化	no=1 , yes=2	

オブジェクト識別子	SYNTAX	ACESS	BYTE	内容	Get/Set 項目	Trap
In1 30.1.100.index	INTEGER	RO	4	SDI In1 のステータス	unlock=1, f525I59=2, f625I50=3, f720P60=4, f720P59=5, f720P50=6, f720P30=7, f720P29=8, f720P25=9, f720P24=10, f720P23=11, f1080I60=12, f1080I59=13, f1080I50=14, f1080P30=15, f1080P29=16, f1080P25=17, f1080P24=18, f1080P23=19, f1080PSF24=20, f1080PSF23=21, f1080P60A=22, f1080P59A=23, f1080P50A=24, f1080P60B=25, f1080P59B=26, f1080P50B=27, f1080I60A=28, f1080I59A=29, f1080I50A=30, f1080P30A=31, f1080P29A=32, f1080P25A=33, f1080P24A=34, f1080P23A=35, f1080PSF30A=36, f1080PSF29A=37, f1080PSF25A=38, f1080PSF24A=39, f1080PSF23A=40, f1080I60B=41, f1080I59B=42, f1080I50B=43, f1080P30B=44, f1080P29B=45, f1080P25B=46, f1080P24B=47, f1080P23B=48, f1080PSF30B=49, f1080PSF29B=50, f1080PSF25B=51, f1080PSF24B=52, f1080PSF23B=53, unknown=54	

オブジェクト識別子	SYNTAX	ACESS	BYTE	内容	Get/Set 項目	Trap
Ref 30.1.102.index	INTEGER	RO	4	REF のステータス	unlock=1, f525I59=2, f625I50=3, f720P60=4, f720P59=5, f720P50=6, f720P30=7, f720P29=8, f720P25=9, f720P24=10, f720P23=11, f1080I60=12, f1080I59=13, f1080I50=14, f1080P30=15, f1080P29=16, f1080P25=17, f1080P24=18, f1080P23=19, f1080PSF24=20, f1080PSF23=21, unknown=54	
Dipsw1 30.1.103.index	INTEGER	RO	4	Dipsw1 の設定 ON=1、OFF=0	0~255	
Dipsw3 30.1.104.index	INTEGER	RO	4	Dipsw3 の設定 ON=1、OFF=0	0~255	
BitDepth 30.1.105.index	INTEGER	RO	4	SDI 入力信号のビット長	bits8=1, bits10=2, bits12=3	
ColorStructure 30.1.106.index	INTEGER	RO	4	SDI 入力信号のカラー構成	yCbCr422=1, yCbCr444=2, rgb444=3, yCbCr420=4, yCbCrA4224=5, yCbCrA4444=6, rgbA4444=7	
AlarmIntCommErr 30.1.201.index	INTEGER	RO	4	内部バス通信エラーアラームステータス	noErr=1, err=2	
AlarmSdiIn1Unlock 30.1.202.index	INTEGER	RO	4	SDI In1 アンロックアラームステータス	lock=1, unlock=2	○
AlarmRefUnlock 30.1.204.index	INTEGER	RO	4	Ref アンロックアラームステータス	lock=1, unlock=2	○
AlarmLtcUnlock 30.1.205.index	INTEGER	RO	4	LTC アンロックアラームステータス	lock=1, unlock=2	○
ErrInfo 30.1.206.index	INTEGER	RO	4	内部エラー情報ステータス	0x00000000~0xffffffff	
AmodeCurMode 30.1.210.index	INTEGER	RO	4	現在の音声モード	m1M=1, m2M=2, m3M=3, m4M=4, m1S=9, m2S=10, m51=18, m1S2M=20, m51S=21, notSupport=31	○
AmodeCurPreset 30.1.211.index	INTEGER	RO	4	現在選択されているプリセット	p01=1, p02=2, p03=3, p04=4, p05=5, p06=6, p07=7, p08=8, p09=9, p10=10, p11=11, p12=12	

トラップオブジェクト識別子は、DFS5101 は[1.3.6.1.4.1.47892.1.1.67.0.]、DFS5102 は[1.3.6.1.4.1.47892.1.1.68.0.]の後に、以下のオブジェクト識別子でトラップが発行されます。各トラップは、index(Slot 情報)を持つ SNMP 設定情報が添付されます。

Trap 番号	内容
TrapSDIInLock 1	SDI In がロックしたことを示すトラップ 添付 SNMP 設定情報: AlarmSDIIn1Unlock (30.1.202.index)
TrapRefLock 2	リファレンスがロックしたことを示すトラップ 添付 SNMP 設定情報: AlarmRefUnlock (30.1.204.index)
TrapLtcLock 4	LTC がロックしたことを示すトラップ 添付 SNMP 設定情報: AlarmLtcUnlock (30.1.205.index)
TrapAudioModeChange 7	音声モードが切り替わったことを示すトラップ 添付 SNMP 設定情報: AmodeCurMode(30.1.210.index)
TrapSDIInUnlock 101	SDI In がアンロックしたことを示すトラップ 添付 SNMP 設定情報: AlarmSDIIn1Unlock (30.1.202.index)
TrapRefUnlock 102	リファレンスがアンロックしたことを示すトラップ 添付 SNMP 設定情報: AlarmRefUnlock (30.1.204.index)
TrapLtcUnlock 104	LTC がアンロックしたことを示すトラップ 添付 SNMP 設定情報: AlarmLtcUnlock (30.1.205.index)

8. コンフィグ設定ファイル・フォーマット

SD カードに "DFS5000_comm.cfg" のファイル名で格納されているファイルがプリセット共通コンフィグ設定ファイルです。 "DFS5000_P01.cfg"～"DFS5000_P12.cfg" のファイル名で格納されているファイルがプリセット毎のコンフィグ設定ファイルです。 1 行 1 パラメーターとなっており、設定コマンド、パラメータの順に記載します。//以降はコメントとして扱われます。なお、SD カードをフロントモジュールに差し込み、CPU がアクセスすると SD カードアクセス LED がアクセス中、赤点灯します。読み込みエラーがなかった場合は、SD カードアクセス LED が 1 秒間緑点灯し、読み込みエラーがあった場合は、1 秒間紫点灯します。

記述例)

IN1_RL ON // IN1 Relay ON/OFF ON:通常、OFF:スルー

以下に、"DFS5000_comm.cfg" の設定コマンド一覧を示します。下記以外のコマンドは無効となり、動作には影響を与えません。

設定コマンド	内容	設定パラメーター	Default
IN1_RL	IN1 リレー設定	ON:通常、OFF:スルー	ON
REF_SEL	リファレンス選択	MODULE/FRAME/FREERUN/IN1	FRAME
PHASE_OFFSET_H	水平方向出力位相	-1920～+1920 (pixel)	0
PHASE_OFFSET_V	垂直方向出力位相	-600～+600 (line)	0
FS_MODE	FS モード	FS/LINE/AAM/BYPASS	FS
OUTPUT_DISABLE	入力アンロック時の出力切断	ON:切断、OFF:出力	OFF
UNLOCK_DETECT_FRAMES	入力アンロック検出フレーム数 (OUTPUT_DISABLE が ON 時有効)	0～1023	0
FREEZE_CTL	フリーズ時の動作制御(OFF は黒画面出力)	FRAME/FIELD/OFF	FRAME
ANC_OUT	アンシラリイ制御	ON:全て通過、OFF:Audioのみ通過	ON
SYSFORMAT	システムフォーマット	AUTO/525I59/625I50/720P60/ 720P59/720P50/720P30/ 720P29/720P25/720P24/ 720P23/1080I60/1080I59/ 1080I50/1080P30/1080P29/ 1080P25/1080P24/1080P23/ 1080PSF24/1080PSF23/ 1080P60A/1080P59A/ 1080P50A/1080P60B/ 1080P59B/1080P50B	AUTO
TC_OFFSET_EN	内蔵 TC のオフセット制御(TC_SEL=IN1_ATC/LTC 時のみ有効)	ON:イネーブル、OFF:ディスエーブル	OFF
TC_OFFSET_HH	内蔵 TC のオフセット値(時)	0～23	0
TC_OFFSET_MM	内蔵 TC のオフセット値(分)	0～59	0
TC_OFFSET_SS	内蔵 TC のオフセット値(秒)	0～59	0
TC_OFFSET_FR	内蔵 TC のオフセット値(フレーム)	0～29	2

設定コマンド	内容	設定パラメーター	Default
TC_INIT_HH	内蔵 TC への初期値(時)	0~23	0
TC_INIT_MM	内蔵 TC への初期値(分)	0~59	0
TC_INIT_SS	内蔵 TC への初期値(秒)	0~59	0
TC_INIT_FR	内蔵 TC への初期値(フレーム)	0~29	0
TC_INIT_BG1	内蔵 TC への初期値(BG1)	0x0~0xf	0x0
TC_INIT_BG2	内蔵 TC への初期値(BG2)	0x0~0xf	0x0
TC_INIT_BG3	内蔵 TC への初期値(BG3)	0x0~0xf	0x0
TC_INIT_BG4	内蔵 TC への初期値(BG4)	0x0~0xf	0x0
TC_INIT_BG5	内蔵 TC への初期値(BG5)	0x0~0xf	0x0
TC_INIT_BG6	内蔵 TC への初期値(BG6)	0x0~0xf	0x0
TC_INIT_BG7	内蔵 TC への初期値(BG7)	0x0~0xf	0x0
TC_INIT_BG8	内蔵 TC への初期値(BG8)	0x0~0xf	0x0
TC_FR_LOAD_EN	内蔵 TC への初期値フレーム値ロード設定	ON:ロード、OFF:ロードしない	OFF
TC_DROP_FR_EN	ドロップフレームの有効／無効（自走時のみ有効）	ON:有効、OFF:無効	ON
TC_DF_NDF_MODE *1	TC モード設定(TC_SEL=IN1_ATC/LTC のみ有効)	NDF:常に NDF で動作、DF:常に DF で動作、IN:入力に連動	IN
TC_LOST_ACTION	ATC/LTC 信号ロスト時の動作	AUTO_RUN/STOP/NO_PACKET /LTC(*1)	AUTO_RUN
TC_SAME_LOST *1	同じ TC 検出時ロストと判定するかしないか	ON:ロストと判定、OFF:ロストと判定しない	ON
TC_SEL	内蔵 TC の動作を設定	IN1_ATC(入力 1 の ATC スル-) /LTC/INT	INT
TC_INIT_LOAD	TC 自走時、初期値をロード設定	ON:ロード、OFF:ロードしない	OFF
TC_RUN_EN	TC 自走開始	ON:自走、OFF:停止	OFF
OUT_ATC_LTC_EN	出力 ATC(LTC)の有効／無効	ON:有効、OFF:無効	OFF
OUT_ATC_VITC_EN	出力 ATC(VITC)の有効／無効	ON:有効、OFF:無効	OFF
EMB_OUT_G1_EN	出力エンベデッドオーディオ グループ 1 制御	ON:出力、OFF:未出力	ON
EMB_OUT_G2_EN	出力エンベデッドオーディオ グループ 2 制御	ON:出力、OFF:未出力	ON
EMB_OUT_G3_EN	出力エンベデッドオーディオ グループ 3 制御	ON:出力、OFF:未出力	ON
EMB_OUT_G4_EN	出力エンベデッドオーディオ グループ 4 制御	ON:出力、OFF:未出力	ON
EMB_OUT_G5_EN	出力エンベデッドオーディオ グループ 5 制御	ON:出力、OFF:未出力	OFF
EMB_OUT_G6_EN	出力エンベデッドオーディオ グループ 6 制御	ON:出力、OFF:未出力	OFF
EMB_OUT_G7_EN	出力エンベデッドオーディオ グループ 7 制御	ON:出力、OFF:未出力	OFF
EMB_OUT_G8_EN	出力エンベデッドオーディオ グループ 8 制御	ON:出力、OFF:未出力	OFF
AMODE_PCHG_AUTO	音声モードによる自動プリセット切り替え制御	ON:有効、OFF:無効	OFF
1M_PRESET	音声モード 1M 時のプリセット	P01~P12	P01
2M_PRESET	音声モード 2M 時のプリセット	P01~P12	P02

*1 : SW:v1.2.6,HW:v1.2.0 以降で有効

設定コマンド	内容	設定パラメーター	Default
3M_PRESET	音声モード 3M 時のプリセット	P01~P12	P03
4M_PRESET	音声モード 4M 時のプリセット	P01~P12	P04
1S_PRESET	音声モード 1S 時のプリセット	P01~P12	P05
2S_PRESET	音声モード 2S 時のプリセット	P01~P12	P06
1S+2M_PRESET	音声モード 1S+2M 時のプリセット	P01~P12	P07
5.1_PRESET	音声モード 5.1 時のプリセット	P01~P12	P08
5.1+S_PRESET	音声モード 5.1+S 時のプリセット	P01~P12	P09
OTHER_PRESET	その他の音声モード時のプリセット	P01~P12	P10
GPI1_FUNC	GPI1 機能選択	P01~P12/FREEZE/THROUGH/ MUTE_ON/TC_SET/ RMT_REC_TRIG/ PIC1_SUPER..PIC4_SUPER/ MASK1_EN..MASK4_EN/NON	NON
GPI2_FUNC	GPI2 機能選択	P01~P12/FREEZE/THROUGH/ MUTE_ON/TC_SET/ RMT_REC_TRIG/ PIC1_SUPER..PIC4_SUPER/ MASK1_EN..MASK4_EN/NON	NON
GPO1_FUNC	GPO1 機能選択	P01~P12/FREEZE/THROUGH/ MUTE_ON/TC_SET/ RMT_REC_TRIG/SDI_ERR/ REF_ERR/LTC_ERR/LINE_ERR/ PIC1_SUPER..PIC4_SUPER/ NON	NON
GPO2_FUNC	GPO2 機能選択	P01~P12/FREEZE/THROUGH/ MUTE_ON/TC_SET/ RMT_REC_TRIG/SDI_ERR/ REF_ERR/LTC_ERR/LINE_ERR/ PIC1_SUPER..PIC4_SUPER/ NON	NON
RMT_REC_EN	SDI リモート録画機能	ON:有効、OFF:無効	OFF
SUPER_EN	スーパー出力	ON:有効、OFF:無効	OFF
SUPER_SEL	スーパー画像選択	PIC1/PIC2/PIC3/PIC4	PIC1
SUPER_POS_X	スーパー位置(X)	0~1919	0
SUPER_POS_Y	スーパー位置(Y)	0~1079	0
MASK1_UL_X	スーパーマスク 1 左上(X)	0~1919	0
MASK1_UL_Y	スーパーマスク 1 左上(Y)	0~1079	0
MASK1_DR_X	スーパーマスク 1 右下(X)	0~1919	0
MASK1_DR_Y	スーパーマスク 1 右下(Y)	0~1079	0

設定コマンド	内容	設定パラメーター	Default
MASK2_UL_X	スーパー・マスク 2 左上(X)	0~1919	0
MASK2_UL_Y	スーパー・マスク 2 左上(Y)	0~1079	0
MASK2_DR_X	スーパー・マスク 2 右下(X)	0~1919	0
MASK2_DR_Y	スーパー・マスク 2 右下(Y)	0~1079	0
MASK3_UL_X	スーパー・マスク 3 左上(X)	0~1919	0
MASK3_UL_Y	スーパー・マスク 3 左上(Y)	0~1079	0
MASK3_DR_X	スーパー・マスク 3 右下(X)	0~1919	0
MASK3_DR_Y	スーパー・マスク 3 右下(Y)	0~1079	0
MASK4_UL_X	スーパー・マスク 4 左上(X)	0~1919	0
MASK4_UL_Y	スーパー・マスク 4 左上(Y)	0~1079	0
MASK4_DR_X	スーパー・マスク 4 右下(X)	0~1919	0
MASK4_DR_Y	スーパー・マスク 4 右下(Y)	0~1079	0
MASK1_EN	スーパー・マスク 1	ON:有効、OFF:無効	OFF
MASK2_EN	スーパー・マスク 2	ON:有効、OFF:無効	OFF
MASK3_EN	スーパー・マスク 3	ON:有効、OFF:無効	OFF
MASK4_EN	スーパー・マスク 4	ON:有効、OFF:無効	OFF
REPLACE_CTL	音声モードリプレース機能	ON:有効、OFF:無効	OFF
REPLACE_MAP_1M	1M 入力時のリプレース音声モード	1M/2M/3M/4M/1S/2S/5.1/1S+ 1M/1S+2M/5.1+S	1M
REPLACE_MAP_2M	2M 入力時のリプレース音声モード		2M
REPLACE_MAP_3M	3M 入力時のリプレース音声モード		3M
REPLACE_MAP_4M	4M 入力時のリプレース音声モード		4M
REPLACE_MAP_1S	1S 入力時のリプレース音声モード		1S
REPLACE_MAP_2S	2S 入力時のリプレース音声モード		2S
REPLACE_MAP_1S+2M	1S+2M 入力時のリプレース音声モード		1S+2M
REPLACE_MAP_5.1	5.1 入力時のリプレース音声モード		5.1
REPLACE_MAP_5.1+S	5.1+S 入力時のリプレース音声モード		5.1+S
PRESET_UPDATE	プリセットファイルを EEPROM にアップデートするかしない か。音声モードによるプリセット切り換えしない場合は OFF を選択	ON:アップデート、OFF:アップデートしな い	OFF

以下に、"DFS5000_P01.cfg"～"DFS5000_P12.cfg"の設定コマンド一覧を示します。

設定コマンド	内容	設定パラメーター	Default
EMB01IN_GAIN : EMB32IN_GAIN	エンベ入力 CH のゲイン調整 (0.1dB ステップ)	-50.0～+50.0	0
EMB01OUT_GAIN : EMB32OUT_GAIN	エンベ出力 CH のゲイン調整 (0.1dB ステップ)	-50.0～+50.0	0
TT1_AMP	テストトーン 1 振幅(1dB ステップ)	0～-63 (dBFS)	-20

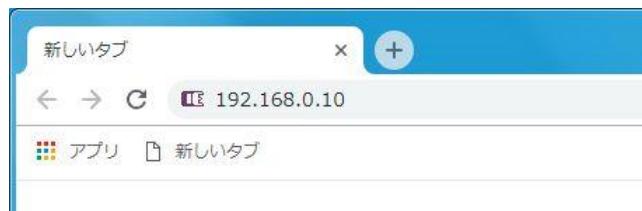
設定コマンド	内容	設定パラメーター	Default
TT1_FREQ	テストトーン 1 周波数	400/800/1000/2000 (Hz)	1000
TT2_AMP	テストトーン 2 振幅(1dB ステップ)	0~ -63 (dBFS)	-20
TT2_FREQ	テストトーン 2 周波数	400/800/1000/2000 (Hz)	800
REMAP_CH01 : REMAP_CH32	リマップ出力 CH 選択	EMB01~EMB32/ TT1/TT2/ DMX_L/DMX_R/MIX1~MIX8/ MUTE	EMB01 : EMB32
DMX_SSEL_CH01 : DMX_SSEL_CH32	ダウンミックス演算 CH ソース選択	EMB01~EMB32/ TT1/TT2/MUTE	EMB01~ EMB32
DMX_LCOEF_CH01 : DMX_LCOEF_CH32	ダウンミックス Lch 演算 CH 係数 (0.1dB ステップ)	0~-12.6, ZERO (dB)	ZERO
DMX_RCOEF_CH01 : DMX_RCOEF_CH32	ダウンミックス Rch 演算 CH 係数 (0.1dB ステップ)	0~-12.6, ZERO (dB)	ZERO
DMX_LSIGN_CH01 : DMX_LSIGN_CH32	ダウンミックス Lch 演算 CH 係数符号	+1/-1	1
DMX_RSIGN_CH01 : DMX_RSIGN_CH32	ダウンミックス Rch 演算 CH 係数符号	+1/-1	1
MIX1_SSEL_CH01 : MIX1_SSEL_CH04	音声ミックス 1 CH ソース選択	EMB01~EMB32/ EXT01~EXT16/TT1/TT2/MUTE	MUTE
MIX1_COEF_CH01 : MIX1_COEF_CH04	音声ミックス 1 CH 係数	0~-12.6, ZERO (dB)	ZERO
MIX2_SSEL_CH01 : MIX2_SSEL_CH04	音声ミックス 2 CH ソース選択	EMB01~EMB32/ EXT01~EXT16/TT1/TT2/MUTE	MUTE
MIX2_COEF_CH01 : MIX2_COEF_CH04	音声ミックス 2 CH 係数	0~-12.6, ZERO (dB)	ZERO
MIX3_SSEL_CH01 : MIX3_SSEL_CH04	音声ミックス 3 CH ソース選択	EMB01~EMB32/ EXT01~EXT16/TT1/TT2/MUTE	MUTE

設定コマンド	内容	設定パラメーター	Default
MIX3_COEF_CH01 : MIX3_COEF_CH04	音声ミックス 3 CH 係数	0~-12.6, ZERO (dB)	ZERO
MIX4_SSEL_CH01 : MIX4_SSEL_CH04	音声ミックス 4 CH ソース選択	EMB01~EMB32/ EXT01~EXT16/TT1/TT2/MUTE	MUTE
MIX4_COEF_CH01 : MIX4_COEF_CH04	音声ミックス 4 CH 係数	0~-12.6, ZERO (dB)	ZERO
MIX5_SSEL_CH01 : MIX5_SSEL_CH04	音声ミックス 5 CH ソース選択	EMB01~EMB32/ EXT01~EXT16/TT1/TT2/MUTE	MUTE
MIX5_COEF_CH01 : MIX5_COEF_CH04	音声ミックス 5 CH 係数	0~-12.6, ZERO (dB)	ZERO
MIX6_SSEL_CH01 : MIX6_SSEL_CH04	音声ミックス 6 CH ソース選択	EMB01~EMB32/ EXT01~EXT16/TT1/TT2/MUTE	MUTE
MIX6_COEF_CH01 : MIX6_COEF_CH04	音声ミックス 6 CH 係数	0~-12.6, ZERO (dB)	ZERO
MIX7_SSEL_CH01 : MIX7_SSEL_CH04	音声ミックス 7 CH ソース選択	EMB01~EMB32/ EXT01~EXT16/TT1/TT2/MUTE	MUTE
MIX7_COEF_CH01 : MIX7_COEF_CH04	音声ミックス 7 CH 係数	0~-12.6, ZERO (dB)	ZERO
MIX8_SSEL_CH01 : MIX8_SSEL_CH04	音声ミックス 8 CH ソース選択	EMB01~EMB32/ EXT01~EXT16/TT1/TT2/MUTE	MUTE
MIX8_COEF_CH01 : MIX8_COEF_CH04	音声ミックス 8 CH 係数	0~-12.6, ZERO (dB)	ZERO
AUDIO_DELAY	音声遅延(1ms ステップ)	0~2000 (ms)	32
LUMINANCE	輝度設定(0.1%ステップ)	0~200.0 (%)	100.0
SATURATION	彩度設定(0.1%ステップ)	0~200.0 (%)	100.0
HUE	色相設定(0.1 度ステップ)	-180.0~180.0 (度)	0.0

9. WebControl

WEB から、全ての設定を確認、変更できます。Google Chrome で IP アドレスを入力して、WebControl に接続します。

C5002、C5001 フレームの IP アドレス出荷時設定は、“192.168.0.10”です。



詳細な操作方法は 93-10092 「WebControl 取扱説明書」を参照してください。

9 – 1. モジュール画面

DFS5101/DFS5102 が挿入されたスロットをクリックするとモジュール画面が表示されます。（DFS5101 の表示例）

※バージョン差異により表示が異なる場合があります。

セクション	項目数
ステータス [+]	7項目
各種設定 [+]	12グループ 計434項目
再起動設定 [+]	2項目
ログ設定 [+]	4項目
製品情報 [+]	8項目

'+'マークをクリックすることにより、各設定が表示されます。以下に各項目の説明を記載します。

9 – 2. ステータス

ステータスには各種モジュールの状態が表示されます。

項目	状態
SDI入力1フォーマット	1080P60A
SDI入力1ビット幅	10bit
SDI入力1カラー構成	YCbCr422
リファレンス	1080i60
SW1	0x0
SW3	0x0
LTCアンロックエラー	ロック
現オーディオモード	未サポート/無し
現プリセット	プリセット01

9 – 2 – 1. SDI 入力 1

SDI 入力 1 に入力されている信号のフォーマットを表示します。`unlock /525I59 /625I50 /720P60 /720P59 /720P50 /720P30 /720P29 /720P25 /720P24 /720P23 /1080I60 /1080I59 /1080I50 /1080P30 /1080P29 /1080P25 /1080P24 /1080P23 /1080PSF24 /1080PSF23 /1080P60A /1080P59A /1080P50A /1080P60B /1080P59B /1080P50B /1080I60A /1080I59A /1080I50A /1080P30A /1080P29A /1080P25A /1080P24A /1080P23A`

/1080PSF30A /1080PSF29A /1080PSF25A /1080PSF24A /1080PSF23A /1080I60B /1080I59B /1080I50B
/1080P30B /1080P29B /1080P25B /1080P24B /1080P23B /1080PSF30B /1080PSF29B /1080PSF25B
/1080PSF24B /1080PSF23B と表示されます。

9-2-2. SDI 入力 1 ビット数

SDI 入力 1 に入力されている信号のビット数を表示します。8bit /10bit /12bit と表示されます。

9-2-3. SDI 入力 1 カラー構成

SDI 入力 1 に入力されている信号のカラー構成を表示します。YCbCr422 /YCbCr444 /RGB444 /YCbCrA4224
/YCbCrA4444 /RGBA4444 /YCbCr420 と表示されます。

9-2-4. リファレンス

リファレンスに入力されている信号のフォーマットを表示します。unlock /525I59 /625I50 /720P60 /720P59 /720P50
/720P30 /720P29 /720P25 /720P24 /720P23 /1080I60 /1080I59 /1080I50 /1080P30 /1080P29 /1080P25
/1080P24 /1080P23 /1080PSF24 /1080PSF23 と表示されます。

9-2-5. SW1

SW1 の設定を 16 進数で表示します。ON が 1, OFF が 0 です。

9-2-6. SW3

SW3 の設定を 16 進数で表示します。ON が 1, OFF が 0 です。

9-2-7. LTC アンロックエラー

LTC がロック（緑点灯）か、アンロック（赤点灯）かを表示します。

9-2-8. 現オーディオモード

SDI 信号に重畠されている現在のオーディオモードを表示します。未サポート/無し /1M /2M /3M /4M /1S /2S /1S+2M /5.1
/5.1+S と表示されます。

9-2-9. 現プリセット

音声モード自動プリセット切り替え設定有効時に、現在選択されているプリセット 01~12 を表示します。

9 – 3 . 各種設定

各種設定には、モジュールに設定できる項目が表示されます。

各項目は、プルダウンメニューにより設定できるパラメーターを選択するか、値を直接入力することにより設定します。入力した時点で、モジュールには設定が反映されます。ただし、SD カードには設定が保存されませんので、全ての設定が終了後、コンフィグファイルへの書き込みを明示的に行ってください。

(DFS12G : 各種設定には、モジュールに設定可能な項目が表示されます。

各項目は、プルダウンメニューにより設定できるパラメーターを選択するか、値を直接入力することにより設定します。設定した時点で、モジュールには設定が反映されます。更新ボタンのあるプリセットの読み出しと、書き込みはプルダウンメニューでプリセット番号を選んだ時点では動作せず、更新ボタンのクリック時に指定されたプリセット番号の読み出し、書き込みを行います。)

項目名	項目数
各種設定 [-]	12グループ 計434項目
基本設定 [+]	13項目
アラーム・トラップ設定 [+]	7項目
GPIO設定 [+]	4項目
タイムコード設定 [+]	28項目
出力設定 [+]	4項目
スーパー設定 [+]	25項目
音声モード設定 [+]	21項目
エンベデッドオーディオ設定 [+]	72項目
テストトーン設定 [+]	4項目
リマップ設定 [+]	32項目
ダウンミックス設定 [+]	160項目
音声ミックス設定 [+]	64項目

9-3-1. 基本設定



9-3-1-1. プリセット ロード

プリセットをロードします。プリセット 1~12 を選択し、更新ボタンをクリックします。

9-3-1-2. プリセット セーブ

プリセットをセーブします。プリセット 1~12 を選択し、更新ボタンをクリックします。

9-3-1-3. 現設定をコンフィグファイルにセーブ

現在の設定をコンフィグファイルにセーブします。

9-3-1-4. 初期設定に戻す

戻すボタンをクリックすると、各種設定を初期状態にします。

9-3-1-5. 入力 1 リレー切替

SDI 入力 1 のリレーの設定です。「オン：通常動作」で SDI 受信状態となり、「オフ：パススルー」で SDI 入力 1 を SDI 出力 1 にバイパス出力します。

9-3-1-6. リファレンス選択

リファレンス信号を選択します。

モジュール : REF-IN (本モジュール) に入力されたリファレンス信号に同期します。

フレーム : C5000 フレームに入力されたリファレンス信号に同期します。

フリーラン : フリーランで動作します。

入力 1 : SDI-IN 入力信号に同期します。

9-3-1-7. 水平面相、垂直面相

リファレンスに対する SDI 出力の水平面相、垂直面相を設定します。

水平面相 : -1920 ピクセル～1920 ピクセル 1 ピクセル単位で設定できます。

垂直面相 : -600 ライン～600 ライン 1 ライン単位で設定できます。

9-3-1-8. FS モード

シンクロナス・モードの設定を行います。

AVDL モード : AVDL モードで動作します。

出力タイミングの約 10 ライン前までの入力信号を引き込みます。

フレームシンクロナス・モード : フレームシンクロナス・モードで動作します。最大 1 フレームの遅延が発生します。

自動音声ミュートモード : 自動オーディオ・ミュート・モードで動作します。

入力信号の切り替わりでのエラーを検出し出力音声にミュート処理を行います。

バイパス・モード : 入力信号に同期し最小遅延で出力します。水平面相、垂直面相の調整は無効となります。

9-3-1-9. 入力アンロック時の出力切断

SDI 入力 1 信号がアンロックしたとき、SDI 出力信号を切斷するか、しないかを設定します。有効で切斷し、無効で切斷しません。

9-3-1-10. 入力アンロック検出フレーム数

入力アンロック時の出力切断が有効の時、SDI 入力 1 信号がアンロックしたと判定するフレーム数を設定します。0~1023 フレームで設定します。

9-3-1-11. フリーズ動作

FS モードが、フレームシンクロナス・モード/自動音声ミュートモードでの入力信号エラー時のフリーズ動作を設定します。

オフ : フリーズ時に黒画面を出力します。

フレーム : 最後のフレーム映像でフリーズします。

フィールド : 最後のフィールド映像でフリーズします。

9-3-1-12. アンシラリー出力

入力されたアンシラリーを出力するか、出力しないかを設定します。オンで出力、オフで出力しません。

エンベデッド音声と、アンシラリータイムコードは、本設定に関係なく、別途出力設定ができます。

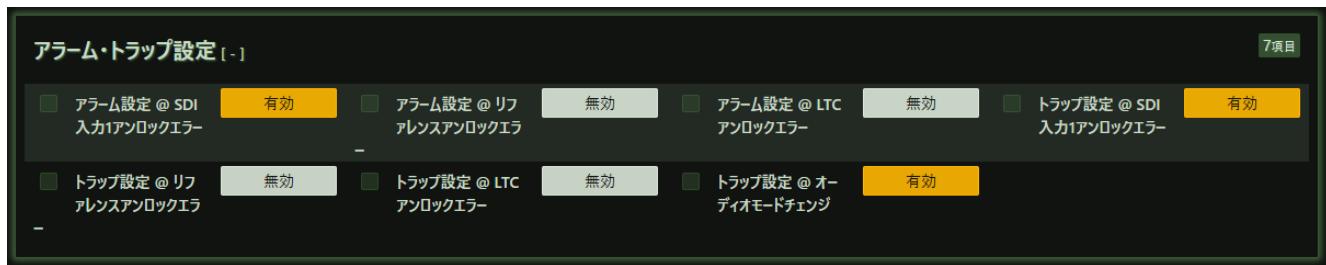
9-3-1-13. システムフォーマット

システム（出力）フォーマットを設定します。AUTO /525I59 /625I50 /720P60 /720P59 /720P50 720P30 /720P29 /720P25 /720P24 /720P23 /1080I60 /1080I59 /1080I50 /1080P30 /1080P29 /1080P25 /1080P24 /1080P23 /1080PSF24 /1080PSF23 /1080P60A /1080P59A /1080P50A /1080P60B /1080P59B /1080P50B が設定でき、AUTO に設定すると入力信号フォーマットに合わせて出力フォーマットが変化します。個別フォーマットを設定した場合は、入力信号フォーマットに関係なく設定したフォーマットで出力します。

9-3-1-14. マニュアルフリーズ

SNMP 又はリモコンにより出力フリーズの制御を行います。オンで出力フリーズし、オフで通常動作となります。

9-3-2. アラーム・トラップ設定



9-3-2-1. アラーム設定@SDI 入力 1 アンロックエラー

SDI-IN 信号にアンロックエラーが発生したときに、アラーム出力するか（有効）、しないか（無効）を設定します。

9-3-2-2. アラーム設定@リファレンスアンロックエラー

リファレンスアンロックエラーが発生したときに、アラーム出力するか（有効）、しないか（無効）を設定します。

9-3-2-3. アラーム設定@LTC アンロックエラー

LTC アンロックエラーが発生したときに、アラーム出力するか（有効）、しないか（無効）を設定します。

9-3-2-4. トラップ設定@SDI 入力 1 アンロックエラー

SDI-IN 信号にアンロックエラーが発生したときに、トラップ出力するか（有効）、しないか（無効）を設定します。

9-3-2-5. トラップ設定@リファレンスアンロックエラー

リファレンスアンロックエラーが発生したときに、トラップ出力するか（有効）、しないか（無効）を設定します。

9-3-2-6. トランプ設定@LTC アンロックエラー

LTC アンロックアンロックエラーが発生したときに、トランプ出力するか（有効）、しないか（無効）を設定します。

9-3-2-7. トランプ設定@オーディオモードチェンジ

オーディオモードが変わったときに、トランプ出力するか（有効）、しないか（無効）を設定します。

9-3-3. GPIO 設定



9-3-3-1. GPI1 機能選択、GPI2 機能選択

GPI1、GPI2 の機能を設定します。

- | | |
|----------------|-------------------------------|
| プリセット 1~12 | : 指定プリセットをロードします。 |
| フリーズ | : 出力 SDI をフリーズします。 |
| スルー | : 出力 SDI に入力 SDI をスルーします。 |
| ミュート | : 出力音声をミュートします。 |
| TC・セット | : TC 選択が内部 TC の時に初期値をロードします。 |
| SDI リモート録画トリガー | : SDI リモート録画のパケット出力をオン、オフします。 |
| 静止画 1~4 スーパー | : 静止画 1~4 をスーパーインポーズします。 |
| スーパー・マスク 1~4 | : スーパー・マスク 1~4 をオン、オフします。 |
| なし | : 何も動作しません。 |

9-3-3-2. GPO1 機能選択、GPO2 機能選択

GPO1、GPO2 の機能を設定します。

- | | |
|--------------|------------------------------------|
| プリセット 1~12 | : 指定プリセット時にオンします。 |
| フリーズ | : 出力フリーズ時にオンします。 |
| スルー | : 出力 SDI に入力 SDI をスルー出力時にオンします。 |
| ミュート | : 出力音声ミュート時にオンします。 |
| TC・セット | : TC 選択が内部 TC 時に初期値がロードしたときにオンします。 |
| SDI リモート録画中 | : SDI リモート録画時にオンします。 |
| 静止画 1~4 スーパー | : 静止画 1~4 がスーパーインポーズ時にオンします。 |
| SDI エラー | : SDI エラー時にオンします。 |
| REF エラー | : REF エラー時にオンします。 |
| LTC エラー | : LTC エラー時にオンします。 |
| ラインエラー | : ラインエラー時にオンします。 |
| なし | : 何も動作しません。 |

9-3-4. タイムコード設定

タイムコード設定 [-]												28項目	
ATC(LTC)出力	オフ	ATC(VITC)出力	オフ	TC選択	内部TC	ATC/LTC 内蔵TCオフセット制御	オフ	ATC/LTC 内蔵TCオフセット(時)	0	ATC/LTC 内蔵TCオフセット(分)	0	ATC/LTC 内蔵TCオフセット(秒)	0
TCロスト時動作	自走	内蔵TC初期値(時)	0	内蔵TC初期値(分)	0	内蔵TC初期値(秒)	0	内蔵TC初期値(BG1)	0	内蔵TC初期値(BG2)	0	内蔵TC初期値(BG3)	0
内蔵TC初期値(フレーム)	0	内蔵TC初期値(BG4)	0	内蔵TC初期値(BG5)	0	内蔵TC初期値(BG6)	0	内蔵TC初期値(BG8)	0	内蔵TCフレーム初期値ロード設定	オフ	内蔵TC初期値(BG7)	0
内蔵TC初期値ロード設定	オフ	内蔵TC自走開始設定	オフ	同TC検出時ロスト判定設定	オン	ATC/LTC TCモード設定	入力追隨モード	ATC/LTC 内蔵TCオフセット(時)	2	ATC/LTC 内蔵TCオフセット(フレーム)	0	内蔵TC初期値(BG3)	0

9-3-4-1. ATC(LTC)出力

アンシラリィ・タイムコード ATC LTC の出力を設定します。

オフ : ATC LTC を出力しません。

オン : ATC LTC を出力します。

9-3-4-2. ATC(VITC)出力

アンシラリィ・タイムコード ATC VITC の出力を設定します。

オフ : ATC VITC を出力しません。

オン : ATC VITC を出力します。

9-3-4-3. TC 選択

内蔵 TC の動作を設定します。

内部 TC : 自走でタイムコードを生成します。

ATC : SDI 入力にエンベデットされたアンシラリィタイムコード(ATC)に同期しタイムコードを生成します。

フレーム入力 TC : フレームに入力された LTC 信号に同期しタイムコードを生成します。

9-3-4-4. ATC/LTC 内蔵 TC オフセット制御

TC 選択が、フレーム入力 TC あるいは ATC の時にオフセットするかを設定します。

オフ : オフセットしません。

オン : TC オフセット(時)/(分)/(秒)/(フレーム)の値でオフセットします。

9-3-4-5. ATC/LTC 内蔵 TC オフセット(時)/(分)/(秒)/(フレーム)

TC オフセット値を、時(0~23)、分(0~59)、秒(0~59)、フレーム(0~29)で設定します。

9-3-4-6. TC ロスト時動作

TC 選択が、フレーム入力 TC あるいは ATC 時に、入力 LTC あるいは ATC がアンロックとなった場合の動作を指定します。

自走 : 自走でカウント動作を継続します。

停止 : カウント動作を停止します。

パケットなし : タイムコードパケットを出力しません。

LTC : 入力 LTC を出力します。

9-3-4-7. 内蔵 TC 初期値(時)/(分)/(秒)/(フレーム)

TC 選択が、内部 TC の時に初期値を、時(0~23)、分(0~59)、秒(0~59)、フレーム(0~29)で設定します。

9-3-4-8. 内蔵 TC 初期値(BG1)~(BG8)、(BG フラグ)

TC 選択が、内部 TC 時のバイナリーグループ 1 ~ グループ 8 を設定します。設定できる範囲は 0~15 です。

また、バイナリーグループ・フラグ(BG フラグ)を設定します。設定できる範囲は 0~7 です。

9 – 3 – 4 – 9. 内蔵 TC フレーム初期値ロード設定

TC 選択が、内部 TC の時、初期値のロード時にフレーム値をロードするか、しないかを設定します。

オフ : フレーム値をロードしません。フレーム値はカレントの値が継続されます。

オン : TC 初期値(フレーム)をロードします。

9 – 3 – 4 – 1 0. 内蔵 TC ドロップフレーム設定

TC 選択が、内部 TC の時にドロップフレーム動作を設定します。

オフ : ノン・ドロップフレームで動作します。

オン : ドロップフレームで動作します。

9 – 3 – 4 – 1 1. 内蔵 TC 初期値ロード設定

TC 選択が、内部 TC の時に初期値をロードするか、しないかを設定します。

オフ : 初期値をロードしません。

オン : 初期値をロードします。

9 – 3 – 4 – 1 2. 内蔵 TC 自走開始設定

自走 TC の開始、停止を設定します。

オフ : 停止します。

オン : 開始します。

9 – 3 – 4 – 1 3. 同 TC 検出時ロスト判定設定

同じタイムコード値が入力された場合の動作を設定します。

オフ : そのまま、同じタイムコードをスルー出力します。

オン : ロストと判定し、タイムコードロスト時の設定された動作を行います。

9 – 3 – 4 – 1 4. ATC/LTC TC モード設定

TC の DF/NDF を設定します。

強制 DF モード : 強制的に DF で動作します。

強制 NDF モード : 強制的に NDF で動作します。

入力追従モード : 入力されている DF/NDF 情報に従い動作します。

9 – 3 – 5. 出力設定



9 – 3 – 5 – 1. 音声遅延(ms)

オーディオの遅延量を設定します。設定範囲は 0~2000ms で、1ms 単位で設定できます。

9 – 3 – 5 – 2. 輝度(*0.1%)

輝度調整値を設定します。設定値の 10 倍の値を設定します。設定できる範囲は、0~2000(200.0%)です。

0.1%単位で設定できます。

9 – 3 – 5 – 3. 再度(*0.1%)

彩度調整値を設定します。設定値の 10 倍の値を設定します。設定できる範囲は、0~2000(200.0%)です。

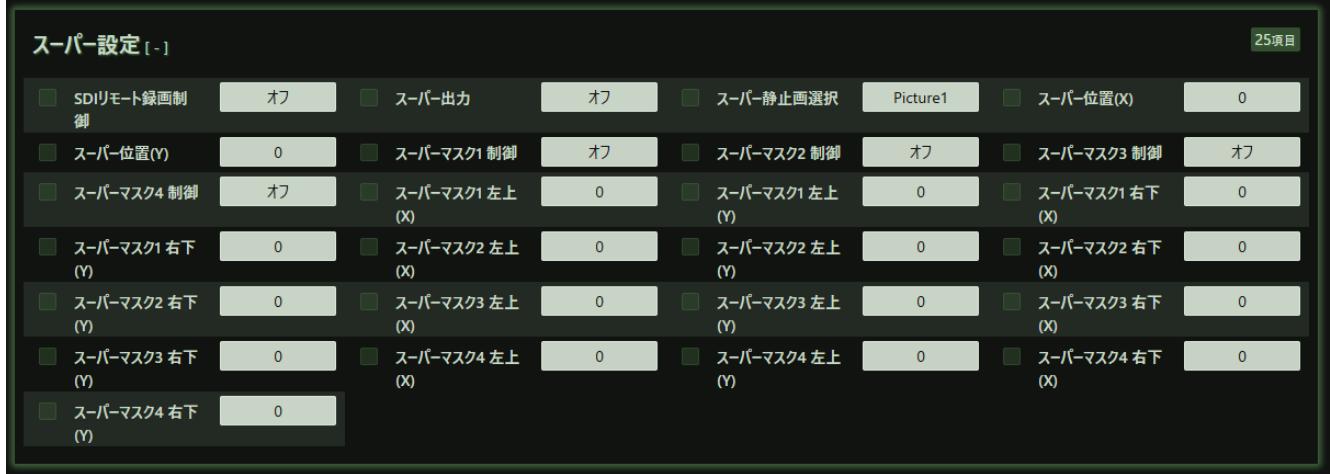
0.1%単位で設定できます。

9-3-5-4. 色相(*0.1°)

色相調整値を設定します。設定値の10倍の値を設定します。設定できる範囲は、-1800(-180.0°)～1800(+180.0°)です。

0.1°単位で設定できます。

9-3-6. スーパー設定



9-3-6-1. SDIリモート録画制御

SDIリモート録画のパケット出力のオン、オフを設定します。

9-3-6-2. スーパー出力

スーパー静止画選択で設定された静止画をオンでスーパーインポーズし、オフでスーパーインポーズ停止します。本機能はスーパーインポーズオプションが必要です。

9-3-6-3. スーパー静止画選択

スーパーする静止画を Picture1～4 から選択します。Picture1～4 は SD カードに書き込んでおき、ファイル名は pic1.tga～pic4.tga に固定されており、ファイル・フォーマットは KEY 付きの TARGA 非圧縮フォーマットです。

9-3-6-4. スーパー位置(X)/(Y)

スーパーする位置の X、Y 座標を設定します。設定範囲は X 座標が 0～1919 で、1ピクセル単位、Y 座標が 0～1079 で、1 ライン単位で設定します。画面左上が(0,0)になります。

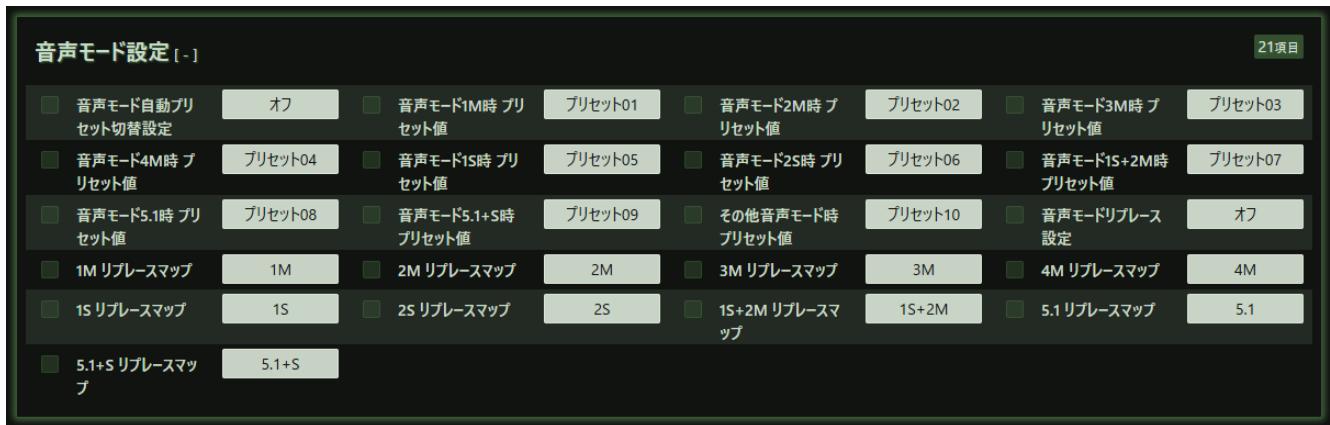
9-3-6-5. スーパーマスク 1～4 制御

スーパー マスク 1～4 のオン、オフを設定します。ondeマスク設定エリアのスーパーがマスクされます。オフはマスクされません。

9-3-6-6. スーパーマスク 1～4 左上(X)/左上(Y)/右下(X)/右下(Y)

スーパーのマスク設定エリア 4 パターンの座標を設定します。設定範囲は X 座標が 0～1919 で、1ピクセル単位、Y 座標が 0～1079 で、1 ライン単位で設定します。画面左上が(0,0)になります。

9-3-7. 音声モード設定



9-3-7-1. 音声モード自動プリセット切替設定

局間制御パケットの音声モードによる自動プリセット切替を設定します。

オフ : 音声モードによる自動プリセット切替を行いません。

オン : 音声モードによる自動プリセット切替を行います。

9-3-7-2. 音声モード 1M/2M/3M/4M/1S/2S/1S+2M/5.1/5.1+S/その他音声モード プリセット値

音声モード 1M～4M、1S、2S、1S+2M、5.1、5.1+S、その他 時のプリセット番号を設定します。プリセット 1～12 を選択します。

9-3-7-3. 音声モードリプレース設定

入力された音声モードのリプレース機能を設定します。

オフ : 入力された音声モードをそのまま出力します。

オン : 入力された音声モードを設定された音声モードにリプレースし出力します。

オンを設定した場合、局間制御パケットの ECC は未使用に設定されます。

9-3-7-4. 1M/2M/3M/4M/1S/2S/1S+2M/5.1/5.1+S リプレースマップ

音声モードのリプレース機能が有効時に、入力された音声モードに対するリプレースする音声モードを設定します。

9-3-8. エンベデッドオーディオ設定

エンベデッドオーディオ設定 [-] 72項目

<input checked="" type="checkbox"/> エンベデッドオーディオ グループ1 出力	オン	<input checked="" type="checkbox"/> エンベデッドオーディオ グループ2 出力	オン	<input checked="" type="checkbox"/> エンベデッドオーディオ グループ3 出力	オン	<input checked="" type="checkbox"/> エンベデッドオーディオ グループ4 出力	オン
<input checked="" type="checkbox"/> エンベデッドオーディオ グループ5 出力	オフ	<input checked="" type="checkbox"/> エンベデッドオーディオ グループ6 出力	オフ	<input checked="" type="checkbox"/> エンベデッドオーディオ グループ7 出力	オフ	<input checked="" type="checkbox"/> エンベデッドオーディオ グループ8 出力	オフ
<input checked="" type="checkbox"/> エンベデッドCH01 入力ゲイン(*0.1dB)	0	<input checked="" type="checkbox"/> エンベデッドCH02 入力ゲイン(*0.1dB)	0	<input checked="" type="checkbox"/> エンベデッドCH03 入力ゲイン(*0.1dB)	0	<input checked="" type="checkbox"/> エンベデッドCH04 入力ゲイン(*0.1dB)	0
<input checked="" type="checkbox"/> エンベデッドCH05 入力ゲイン(*0.1dB)	0	<input checked="" type="checkbox"/> エンベデッドCH06 入力ゲイン(*0.1dB)	0	<input checked="" type="checkbox"/> エンベデッドCH07 入力ゲイン(*0.1dB)	0	<input checked="" type="checkbox"/> エンベデッドCH08 入力ゲイン(*0.1dB)	0
<input checked="" type="checkbox"/> エンベデッドCH09 入力ゲイン(*0.1dB)	0	<input checked="" type="checkbox"/> エンベデッドCH10 入力ゲイン(*0.1dB)	0	<input checked="" type="checkbox"/> エンベデッドCH11 入力ゲイン(*0.1dB)	0	<input checked="" type="checkbox"/> エンベデッドCH12 入力ゲイン(*0.1dB)	0
<input checked="" type="checkbox"/> エンベデッドCH13 入力ゲイン(*0.1dB)	0	<input checked="" type="checkbox"/> エンベデッドCH14 入力ゲイン(*0.1dB)	0	<input checked="" type="checkbox"/> エンベデッドCH15 入力ゲイン(*0.1dB)	0	<input checked="" type="checkbox"/> エンベデッドCH16 入力ゲイン(*0.1dB)	0
<input checked="" type="checkbox"/> エンベデッドCH17 入力ゲイン(*0.1dB)	0	<input checked="" type="checkbox"/> エンベデッドCH18 入力ゲイン(*0.1dB)	0	<input checked="" type="checkbox"/> エンベデッドCH19 入力ゲイン(*0.1dB)	0	<input checked="" type="checkbox"/> エンベデッドCH20 入力ゲイン(*0.1dB)	0
<input checked="" type="checkbox"/> エンベデッドCH21 入力ゲイン(*0.1dB)	0	<input checked="" type="checkbox"/> エンベデッドCH22 入力ゲイン(*0.1dB)	0	<input checked="" type="checkbox"/> エンベデッドCH23 入力ゲイン(*0.1dB)	0	<input checked="" type="checkbox"/> エンベデッドCH24 入力ゲイン(*0.1dB)	0
<input checked="" type="checkbox"/> エンベデッドCH25 入力ゲイン(*0.1dB)	0	<input checked="" type="checkbox"/> エンベデッドCH26 入力ゲイン(*0.1dB)	0	<input checked="" type="checkbox"/> エンベデッドCH27 入力ゲイン(*0.1dB)	0	<input checked="" type="checkbox"/> エンベデッドCH28 入力ゲイン(*0.1dB)	0
<input checked="" type="checkbox"/> エンベデッドCH29 入力ゲイン(*0.1dB)	0	<input checked="" type="checkbox"/> エンベデッドCH30 入力ゲイン(*0.1dB)	0	<input checked="" type="checkbox"/> エンベデッドCH31 入力ゲイン(*0.1dB)	0	<input checked="" type="checkbox"/> エンベデッドCH32 入力ゲイン(*0.1dB)	0
<input checked="" type="checkbox"/> エンベデッドCH01 出力ゲイン(*0.1dB)	0	<input checked="" type="checkbox"/> エンベデッドCH02 出力ゲイン(*0.1dB)	0	<input checked="" type="checkbox"/> エンベデッドCH03 出力ゲイン(*0.1dB)	0	<input checked="" type="checkbox"/> エンベデッドCH04 出力ゲイン(*0.1dB)	0
<input checked="" type="checkbox"/> エンベデッドCH05 出力ゲイン(*0.1dB)	0	<input checked="" type="checkbox"/> エンベデッドCH06 出力ゲイン(*0.1dB)	0	<input checked="" type="checkbox"/> エンベデッドCH07 出力ゲイン(*0.1dB)	0	<input checked="" type="checkbox"/> エンベデッドCH08 出力ゲイン(*0.1dB)	0
<input checked="" type="checkbox"/> エンベデッドCH09 出力ゲイン(*0.1dB)	0	<input checked="" type="checkbox"/> エンベデッドCH10 出力ゲイン(*0.1dB)	0	<input checked="" type="checkbox"/> エンベデッドCH11 出力ゲイン(*0.1dB)	0	<input checked="" type="checkbox"/> エンベデッドCH12 出力ゲイン(*0.1dB)	0
<input checked="" type="checkbox"/> エンベデッドCH13 出力ゲイン(*0.1dB)	0	<input checked="" type="checkbox"/> エンベデッドCH14 出力ゲイン(*0.1dB)	0	<input checked="" type="checkbox"/> エンベデッドCH15 出力ゲイン(*0.1dB)	0	<input checked="" type="checkbox"/> エンベデッドCH16 出力ゲイン(*0.1dB)	0
<input checked="" type="checkbox"/> エンベデッドCH17 出力ゲイン(*0.1dB)	0	<input checked="" type="checkbox"/> エンベデッドCH18 出力ゲイン(*0.1dB)	0	<input checked="" type="checkbox"/> エンベデッドCH19 出力ゲイン(*0.1dB)	0	<input checked="" type="checkbox"/> エンベデッドCH20 出力ゲイン(*0.1dB)	0
<input checked="" type="checkbox"/> エンベデッドCH21 出力ゲイン(*0.1dB)	0	<input checked="" type="checkbox"/> エンベデッドCH22 出力ゲイン(*0.1dB)	0	<input checked="" type="checkbox"/> エンベデッドCH23 出力ゲイン(*0.1dB)	0	<input checked="" type="checkbox"/> エンベデッドCH24 出力ゲイン(*0.1dB)	0
<input checked="" type="checkbox"/> エンベデッドCH25 出力ゲイン(*0.1dB)	0	<input checked="" type="checkbox"/> エンベデッドCH26 出力ゲイン(*0.1dB)	0	<input checked="" type="checkbox"/> エンベデッドCH27 出力ゲイン(*0.1dB)	0	<input checked="" type="checkbox"/> エンベデッドCH28 出力ゲイン(*0.1dB)	0
<input checked="" type="checkbox"/> エンベデッドCH29 出力ゲイン(*0.1dB)	0	<input checked="" type="checkbox"/> エンベデッドCH30 出力ゲイン(*0.1dB)	0	<input checked="" type="checkbox"/> エンベデッドCH31 出力ゲイン(*0.1dB)	0	<input checked="" type="checkbox"/> エンベデッドCH32 出力ゲイン(*0.1dB)	0

9-3-8-1. エンベデッドオーディオ グループ1～8 出力

エンベデット・オーディオ・グループ1～グループ8の出力を設定します。

オフ : エンベデット・オーディオ・グループnを出力しません。

オン : エンベデット・オーディオ・グループnを出力します。

9-3-8-2. エンベデッド CH01～CH32 入力ゲイン(*0.1dB)

エンベデッド音声入力ゲインを設定します。単位は dB で、設定するゲイン値の 10 倍の値を設定します。

設定できる範囲は-500(-50.0dB)～500(+50.0dB)です。

9-3-8-3. エンベデッド CH01～CH32 出力ゲイン(*0.1dB)

エンベデッド音声出力ゲインを設定します。単位は dB で、設定するゲイン値の 10 倍の値を設定します。

設定できる範囲は-500(-50.0dB)～500(+50.0dB)です。

9-3-9. テストトーン設定

テ스트トーン設定 [-]

4項目

テストトーン1 振幅 (dBFS)	-20	テストトーン1 周波数 1kHz	テストトーン2 振幅 (dBFS)	-20	テストトーン2 周波数 800Hz
----------------------	-----	---------------------	----------------------	-----	----------------------

9-3-9-1. テストトーン1 振幅(dBFS)

テストトーン1の振幅を設定します。設定範囲は、-63～0dBFSで、1dB単位で設定します。

9-3-9-2. テストトーン1 周波数

テストトーン1の周波数を選択します。選択できるのは、400Hz, 800Hz, 1kHz, 2kHzです。

9-3-9-3. テストトーン2 振幅(dBFS)

テストトーン2の振幅を設定します。設定範囲は、-63～0dBFSで、1dB単位で設定します。

9-3-9-4. テストトーン2 周波数

テストトーン2の周波数を選択します。選択できるのは、400Hz, 800Hz, 1kHz, 2kHzです。

9-3-10. リマップ設定

リマップ設定 [-]

32項目

リマップ出力CH01	Embln CH01	リマップ出力CH02	Embln CH02	リマップ出力CH03	Embln CH03	リマップ出力CH04	Embln CH04
リマップ出力CH05	Embln CH05	リマップ出力CH06	Embln CH06	リマップ出力CH07	Embln CH07	リマップ出力CH08	Embln CH08
リマップ出力CH09	Embln CH09	リマップ出力CH10	Embln CH10	リマップ出力CH11	Embln CH11	リマップ出力CH12	Embln CH12
リマップ出力CH13	Embln CH13	リマップ出力CH14	Embln CH14	リマップ出力CH15	Embln CH15	リマップ出力CH16	Embln CH16
リマップ出力CH17	Embln CH17	リマップ出力CH18	Embln CH18	リマップ出力CH19	Embln CH19	リマップ出力CH20	Embln CH20
リマップ出力CH21	Embln CH21	リマップ出力CH22	Embln CH22	リマップ出力CH23	Embln CH23	リマップ出力CH24	Embln CH24
リマップ出力CH25	Embln CH25	リマップ出力CH26	Embln CH26	リマップ出力CH27	Embln CH27	リマップ出力CH28	Embln CH28
リマップ出力CH29	Embln CH29	リマップ出力CH30	Embln CH30	リマップ出力CH31	Embln CH31	リマップ出力CH32	Embln CH32

9-3-10-1. リマップ出力 CH01～CH32

エンベット・オーディオ出力 CH01～CH32 のオーディオ信号を割り当てます。

EmbIn CH01～CH32 : エンベット・オーディオ CH01～CH16

Test Tone1, 2 : テストトーン1、2

Downmix L, R : ダウンミックス音声

Mix1～8 : 任意 MIX 音声 1～8

Mute : 無音

9 - 3 - 1 1. ダウンミックス設定

ダウンミックスCH01 Lch演算係数符号	1	ダウンミックスCH02 Lch演算係数符号	1	ダウンミックスCH03 Lch演算係数符号	1	ダウンミックスCH04 Lch演算係数符号	1
ダウンミックスCH05 Lch演算係数符号	1	ダウンミックスCH06 Lch演算係数符号	1	ダウンミックスCH07 Lch演算係数符号	1	ダウンミックスCH08 Lch演算係数符号	1
ダウンミックスCH09 Lch演算係数符号	1	ダウンミックスCH10 Lch演算係数符号	1	ダウンミックスCH11 Lch演算係数符号	1	ダウンミックスCH12 Lch演算係数符号	1
ダウンミックスCH13 Lch演算係数符号	1	ダウンミックスCH14 Lch演算係数符号	1	ダウンミックスCH15 Lch演算係数符号	1	ダウンミックスCH16 Lch演算係数符号	1
ダウンミックスCH17 Lch演算係数符号	1	ダウンミックスCH18 Lch演算係数符号	1	ダウンミックスCH19 Lch演算係数符号	1	ダウンミックスCH20 Lch演算係数符号	1
ダウンミックスCH21 Lch演算係数符号	1	ダウンミックスCH22 Lch演算係数符号	1	ダウンミックスCH23 Lch演算係数符号	1	ダウンミックスCH24 Lch演算係数符号	1
ダウンミックスCH25 Lch演算係数符号	1	ダウンミックスCH26 Lch演算係数符号	1	ダウンミックスCH27 Lch演算係数符号	1	ダウンミックスCH28 Lch演算係数符号	1
ダウンミックスCH29 Lch演算係数符号	1	ダウンミックスCH30 Lch演算係数符号	1	ダウンミックスCH31 Lch演算係数符号	1	ダウンミックスCH32 Lch演算係数符号	1
ダウンミックスCH01 Rch演算係数符号	1	ダウンミックスCH02 Rch演算係数符号	1	ダウンミックスCH03 Rch演算係数符号	1	ダウンミックスCH04 Rch演算係数符号	1
ダウンミックスCH05 Rch演算係数符号	1	ダウンミックスCH06 Rch演算係数符号	1	ダウンミックスCH07 Rch演算係数符号	1	ダウンミックスCH08 Rch演算係数符号	1
ダウンミックスCH09 Rch演算係数符号	1	ダウンミックスCH10 Rch演算係数符号	1	ダウンミックスCH11 Rch演算係数符号	1	ダウンミックスCH12 Rch演算係数符号	1
ダウンミックスCH13 Rch演算係数符号	1	ダウンミックスCH14 Rch演算係数符号	1	ダウンミックスCH15 Rch演算係数符号	1	ダウンミックスCH16 Rch演算係数符号	1
ダウンミックスCH17 Rch演算係数符号	1	ダウンミックスCH18 Rch演算係数符号	1	ダウンミックスCH19 Rch演算係数符号	1	ダウンミックスCH20 Rch演算係数符号	1
ダウンミックスCH21 Rch演算係数符号	1	ダウンミックスCH22 Rch演算係数符号	1	ダウンミックスCH23 Rch演算係数符号	1	ダウンミックスCH24 Rch演算係数符号	1
ダウンミックスCH25 Rch演算係数符号	1	ダウンミックスCH26 Rch演算係数符号	1	ダウンミックスCH27 Rch演算係数符号	1	ダウンミックスCH28 Rch演算係数符号	1
ダウンミックスCH29 Rch演算係数符号	1	ダウンミックスCH30 Rch演算係数符号	1	ダウンミックスCH31 Rch演算係数符号	1	ダウンミックスCH32 Rch演算係数符号	1

9 - 3 - 1 1 - 1. ダウンミックス CH01～CH32 ソース選択

ダウンミックス演算する CH01～CH32 のオーディオ信号を以下より割り当てます。

EmbIn CH01～CH32 : エンベット・オーディオ CH01～CH16

Test Tone1、2 : テストトーン 1、2

Mute : 無音

9 - 3 - 1 1 - 2. ダウンミックス CH01～CH32 Lch 演算係数(*0.1dB)

ダウンミックス演算を行う、Lch 用の係数を設定します。設定する係数の 10 倍の値を設定します。-126(-12.6dB)～0dB、-127 に設定したときは係数 0 を設定します

9 - 3 - 1 1 - 3. ダウンミックス CH01～CH32 Rch 演算係数(*0.1dB)

ダウンミックス演算を行う、Rch 用の係数を設定します。設定する係数の 10 倍の値を設定します。-126(-12.6dB)～0dB、-127 に設定したときは係数 0 を設定します

9 - 3 - 1 1 - 4. ダウンミックス CH01～CH32 Lch 符号

ダウンミックス Lch を演算する CH01～CH32 の符号を設定します。1 あるいは-1 を指定します。

9 - 3 - 1 1 - 5. ダウンミックス CH01～CH32 Rch 符号

ダウンミックス Rch を演算する CH01～CH32 の符号を設定します。1 あるいは-1 を指定します。

9 - 3 - 1 2 . 音声ミックス

音声ミックス設定 [-]										64項目	
音声ミックス1 CH01 ソース選択	Mute	音声ミックス1 CH02 ソース選択	Mute	音声ミックス1 CH03 ソース選択	Mute	音声ミックス1 CH04 ソース選択	Mute	音声ミックス1 CH05 ソース選択	Mute	音声ミックス1 CH06 ソース選択	Mute
音声ミックス1 CH01 演算係数(*0.1dB)	-127	音声ミックス1 CH02 演算係数(*0.1dB)	-127	音声ミックス1 CH03 演算係数(*0.1dB)	-127	音声ミックス1 CH04 演算係数(*0.1dB)	-127	音声ミックス1 CH05 演算係数(*0.1dB)	-127	音声ミックス1 CH06 演算係数(*0.1dB)	-127
音声ミックス2 CH01 ソース選択	Mute	音声ミックス2 CH02 ソース選択	Mute	音声ミックス2 CH03 ソース選択	Mute	音声ミックス2 CH04 ソース選択	Mute	音声ミックス2 CH05 ソース選択	Mute	音声ミックス2 CH06 ソース選択	Mute
音声ミックス2 CH01 演算係数(*0.1dB)	-127	音声ミックス2 CH02 演算係数(*0.1dB)	-127	音声ミックス2 CH03 演算係数(*0.1dB)	-127	音声ミックス2 CH04 演算係数(*0.1dB)	-127	音声ミックス2 CH05 演算係数(*0.1dB)	-127	音声ミックス2 CH06 演算係数(*0.1dB)	-127
音声ミックス3 CH01 ソース選択	Mute	音声ミックス3 CH02 ソース選択	Mute	音声ミックス3 CH03 ソース選択	Mute	音声ミックス3 CH04 ソース選択	Mute	音声ミックス3 CH05 ソース選択	Mute	音声ミックス3 CH06 ソース選択	Mute
音声ミックス3 CH01 演算係数(*0.1dB)	-127	音声ミックス3 CH02 演算係数(*0.1dB)	-127	音声ミックス3 CH03 演算係数(*0.1dB)	-127	音声ミックス3 CH04 演算係数(*0.1dB)	-127	音声ミックス3 CH05 演算係数(*0.1dB)	-127	音声ミックス3 CH06 演算係数(*0.1dB)	-127
音声ミックス4 CH01 ソース選択	Mute	音声ミックス4 CH02 ソース選択	Mute	音声ミックス4 CH03 ソース選択	Mute	音声ミックス4 CH04 ソース選択	Mute	音声ミックス4 CH05 ソース選択	Mute	音声ミックス4 CH06 ソース選択	Mute
音声ミックス4 CH01 演算係数(*0.1dB)	-127	音声ミックス4 CH02 演算係数(*0.1dB)	-127	音声ミックス4 CH03 演算係数(*0.1dB)	-127	音声ミックス4 CH04 演算係数(*0.1dB)	-127	音声ミックス4 CH05 演算係数(*0.1dB)	-127	音声ミックス4 CH06 演算係数(*0.1dB)	-127
音声ミックス5 CH01 ソース選択	Mute	音声ミックス5 CH02 ソース選択	Mute	音声ミックス5 CH03 ソース選択	Mute	音声ミックス5 CH04 ソース選択	Mute	音声ミックス5 CH05 ソース選択	Mute	音声ミックス5 CH06 ソース選択	Mute
音声ミックス5 CH01 演算係数(*0.1dB)	-127	音声ミックス5 CH02 演算係数(*0.1dB)	-127	音声ミックス5 CH03 演算係数(*0.1dB)	-127	音声ミックス5 CH04 演算係数(*0.1dB)	-127	音声ミックス5 CH05 演算係数(*0.1dB)	-127	音声ミックス5 CH06 演算係数(*0.1dB)	-127
音声ミックス6 CH01 ソース選択	Mute	音声ミックス6 CH02 ソース選択	Mute	音声ミックス6 CH03 ソース選択	Mute	音声ミックス6 CH04 ソース選択	Mute	音声ミックス6 CH05 ソース選択	Mute	音声ミックス6 CH06 ソース選択	Mute
音声ミックス6 CH01 演算係数(*0.1dB)	-127	音声ミックス6 CH02 演算係数(*0.1dB)	-127	音声ミックス6 CH03 演算係数(*0.1dB)	-127	音声ミックス6 CH04 演算係数(*0.1dB)	-127	音声ミックス6 CH05 演算係数(*0.1dB)	-127	音声ミックス6 CH06 演算係数(*0.1dB)	-127
音声ミックス7 CH01 ソース選択	Mute	音声ミックス7 CH02 ソース選択	Mute	音声ミックス7 CH03 ソース選択	Mute	音声ミックス7 CH04 ソース選択	Mute	音声ミックス7 CH05 ソース選択	Mute	音声ミックス7 CH06 ソース選択	Mute
音声ミックス7 CH01 演算係数(*0.1dB)	-127	音声ミックス7 CH02 演算係数(*0.1dB)	-127	音声ミックス7 CH03 演算係数(*0.1dB)	-127	音声ミックス7 CH04 演算係数(*0.1dB)	-127	音声ミックス7 CH05 演算係数(*0.1dB)	-127	音声ミックス7 CH06 演算係数(*0.1dB)	-127
音声ミックス8 CH01 ソース選択	Mute	音声ミックス8 CH02 ソース選択	Mute	音声ミックス8 CH03 ソース選択	Mute	音声ミックス8 CH04 ソース選択	Mute	音声ミックス8 CH05 ソース選択	Mute	音声ミックス8 CH06 ソース選択	Mute
音声ミックス8 CH01 演算係数(*0.1dB)	-127	音声ミックス8 CH02 演算係数(*0.1dB)	-127	音声ミックス8 CH03 演算係数(*0.1dB)	-127	音声ミックス8 CH04 演算係数(*0.1dB)	-127	音声ミックス8 CH05 演算係数(*0.1dB)	-127	音声ミックス8 CH06 演算係数(*0.1dB)	-127

9 - 3 - 1 2 - 1 . 音声ミックス 1 CH01 ソース選択～音声ミックス 1 CH04 ソース選択

音声ミックスするオーディオ信号を以下より割り当てます。

EmbIn CH01～CH32 : エンベット・オーディオ CH01～CH16

Test Tone1、2 : テストトーン 1、2

Mute : 無音

※音声ミックス 2～8 ソース選択 も同様です。

9 - 3 - 1 2 - 2 . 音声ミックス 1 CH01 係数(*0.1dB)～音声ミックス 1 CH04 係数(*0.1dB)

音声ミックスする際の係数を設定します。設定する係数の 10 倍の値を設定します。-126(-12.6dB)～0dB、-127 に設定したときは係数 0 を設定します。

※音声ミックス 2～8 係数 も同様です。

9 – 4 . 再起動設定

コントローラの再起動を WEB から行うことができます。再起動を行うことにより、SD カードの設定を再読み込みします。



9 – 4 – 1 . 再起動を許可

再起動の許可をするか、しないかをいいえ、はいで設定します。

9 – 4 – 2 . コントローラの再起動

再起動の許可がはいの状態で、再起動をクリックすることによりコントローラが再起動されます。

9 – 5 . ログ設定

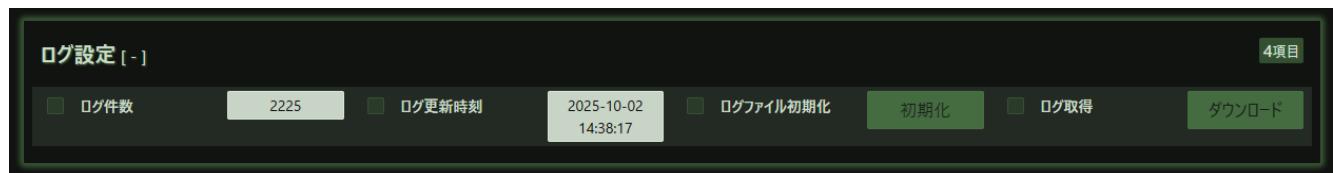
ログの初期化、ログのダウンロードを行なうことができます。動作中に SD カードを抜くとロギング動作は停止します。再度 SD カードを挿入した後は、コントローラを再起動してください。ログの時刻はリアルタイム時刻ソースで設定したソースの時刻情報です。また、ログに記録する内容は以下の通りです。

1) ステータス

- SDI 入力のアンロックを含むフォーマットと変化時刻
- LTC 入力ロック/アンロックと変化時刻
- リファレンス入力のアンロックを含むフォーマットと変化時刻

2) 各種設定

全項目の設定値と変化時刻



9 – 5 – 1 . ログ件数

現在のログ件数を表示します。最新のログが最大 10000 件保存されます。

9 – 5 – 2 . ログ更新時刻

ログの最終更新時刻を表示します。

9 – 5 – 3 . ログファイル初期化

初期化ボタンをクリックすることにより、ログを初期化します。

9 – 5 – 4 . ログ取得

ダウンロードボタンをクリックすることにより、WEBを開いているPCにログをダウンロードします。

ダウンロードしたログの例を以下に示します。

idx, time	,slt, mode	, OID	, type	, val	Status Description
10, 2023-09-06 18:52:58,	3, System,	Logging Start			
11, 2023-09-06 18:52:58,	3, Status,	1.3.6.1.4.1.47892.2.1.67.30.100	, INT	,	1, SDI UNLOCK
12, 2023-09-06 18:52:58,	3, Status,	1.3.6.1.4.1.47892.2.1.67.30.102	, INT	,	1, REF UNLOCK
13, 2023-09-06 18:52:58,	3, Status,	1.3.6.1.4.1.47892.2.1.67.30.205	, INT	,	1, LTC lock
14, 2023-09-06 18:52:59,	3, Status,	1.3.6.1.4.1.47892.2.1.67.30.100	, INT	,	13, SDI 1080I59
15, 2023-09-06 18:53:02,	3, Status,	1.3.6.1.4.1.47892.2.1.67.30.102	, INT	,	2, REF 525I59
16, 2023-09-06 18:53:02,	3, Status,	1.3.6.1.4.1.47892.2.1.67.30.102	, INT	,	1, REF UNLOCK
17, 2023-09-06 18:53:03,	3, Status,	1.3.6.1.4.1.47892.2.1.67.30.102	, INT	,	2, REF 525I59

9 – 6 . 製品情報

製品情報には各種モジュールの製品情報が表示されます。



9 – 6 – 1 . 製品 ID

モジュールのID番号です。DFS5101は67、DFS5102は68です。

9 – 6 – 2 . 製品概要

モジュールの機能概要です。

9 – 6 – 3 . Version (Firmware), Version (Hardware)

DFS5101/DFS5102に搭載されているCPUのFirmwareバージョンと、FPGAのHardwareバージョンを表示します。

9 – 6 – 4 . 占有スロット数

占有するスロット数を表示します。DFS5101は1スロット、DFS5102は2スロットです。

9 – 6 – 5 . 別名

別名を設定することができます。ユニークな名称を設定し、SNMPで名称確認することができます。

9 – 6 – 6 . シリアル番号

モジュールのシリアル番号です。工場出荷時に設定します。

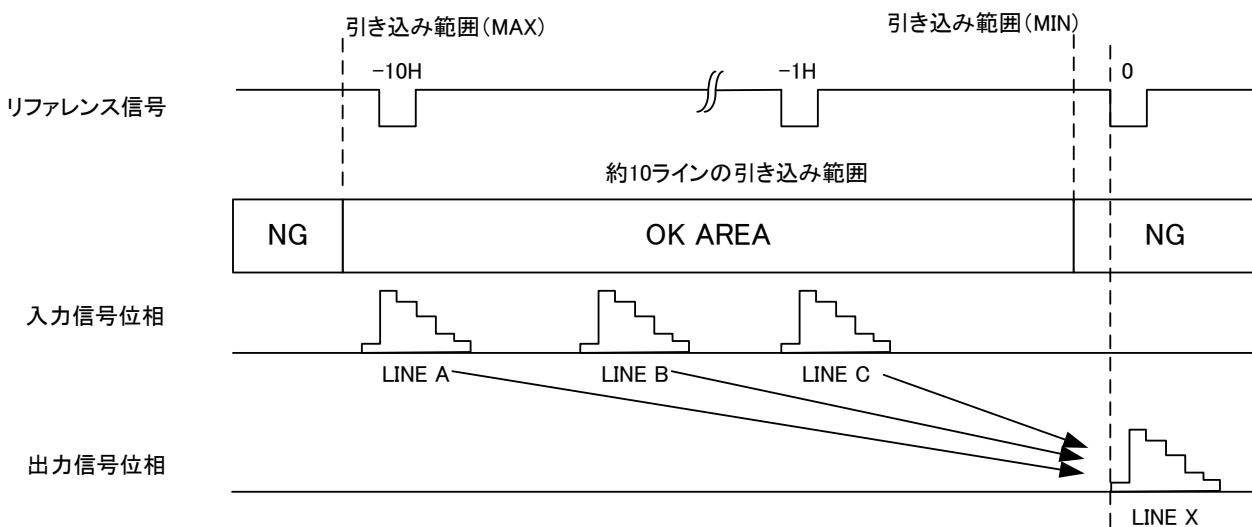
9 – 6 – 7 . スーパーオプション

スーパーインポーズオプションが有効か、無効かを表示します。

10. 各種タイミングについて

10-1. AVDL モード引き込み範囲と入出力遅延

出力タイミングを基準としたときの入力信号の引き込み範囲は約 10 ラインの引き込み範囲を有しています。出力タイミングに対して約 10 ラインの下図の OK エリアの範囲で入力された信号は、出力タイミングで正しく出力され、NG エリアで入力された信号は、出力タイミングでは数ライン落ちした映像が出力されます。入力位相が OK エリアに入らないときは、出力位相を調整し、必ず OK エリアに入るようしてください。



各フォーマットごとの引き込み範囲を以下に示します。

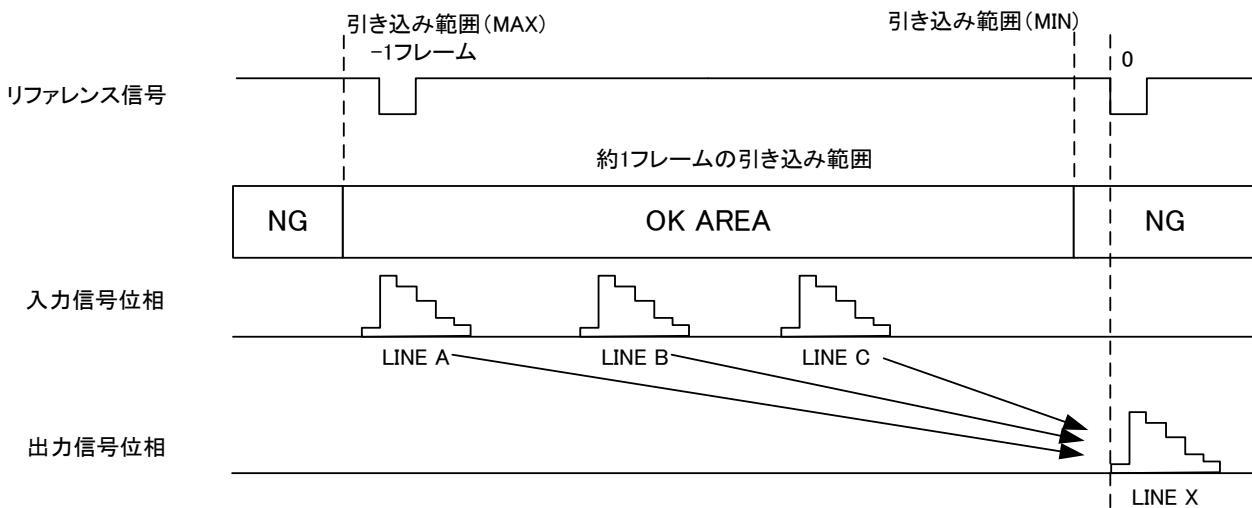
入力フォーマット	引き込み範囲 (MIN)		引き込み範囲 (MAX)	
525i59	-340pix	-12.704us	-50pix, -10H	-637.518us
625i59	-350pix	-13.148us	-50pix, -10H	-642.000us
720p60	-450pix	-5.980us	-70pix, -10H	-223.084us
720p59	-440pix	-5.999us	-60pix, -10H	-223.321us
720p50	-770pix	-10.424us	-60pix, -10H	-267.529us
720p30	-2080pix	-28.202us	-50pix, -10H	-445.293us
720p29	-2089pix	-28.163us	-50pix, -10H	-445.684us
720p25	-2740pix	-37.024us	-60pix, -10H	-534.128us
720p24	-2925pix	-39.300us	-70pix, -10H	-556.417us
720p23	-2925pix	-39.366us	-70pix, -10H	-556.987us
1080i60	-350pix	-4.768us	-60pix, -10H	-297.158us
1080i59	-350pix	-4.759us	-60pix, -10H	-297.428us
1080i50	-790pix	-10.640us	-60pix, -10H	-356.364us
1080p30	-360pix	-4.727us	-70pix, -10H	-297.118us
1080p29	-350pix	-4.745us	-60pix, -10H	-297.442us
1080p25	-790pix	-10.680us	-60pix, -10H	-356.391us
1080p24	-910pix	-12.162us	-70pix, -10H	-371.219us
1080p23	-910pix	-12.174us	-70pix, -10H	-371.219us
1080psf24	-910pix	-12.148us	-70pix, -10H	-371.205us

1080psf23	-910pix	-12.187us	-70pix, -10H	-371.604us
入力フォーマット	引き込み範囲 (MIN)		引き込み範囲 (MAX)	
1080p60A	-340pix	-2.364us	-50pix, -10H	-148.559us
1080p59A	-340pix	-2.332us	-50pix, -10H	-148.681us
1080p50A	-790pix	-5.347us	-60pix, -10H	-178.209us
1080p60B	-660pix	-4.525us	-80pix, -20H	-296.916us
1080p59B	-660pix	-4.496us	-80pix, -20H	-297.179us
1080p50B	-1560pix	-10.505us	-100pix, -20H	-356.229us

AVDLモードでの入出力遅延は、引き込み範囲と同じ値となります。入力フォーマットが1080i59の場合、入出力遅延は最小4.759us、最大297.428usとなります。

10-2. フレームシンクロナイズ・モード及びAAMモード入出力遅延

フレームシンクロナイズ・モードでは、非同期信号も最大約1フレームの遅延で出力します。



各フォーマットごとの入出力遅延を以下に示します。

入力フォーマット	入出力遅延 (MIN)	入出力遅延 (MAX)
525i59, 625i50	3H	1frame + 2H
720p*	3H	1frame + 2H
1080*(HD)	4H	1frame + 3H
1080p60A~1080p50A	4H	1frame + 3H
1080p60B~1080p50B	8H	2frame + 6H

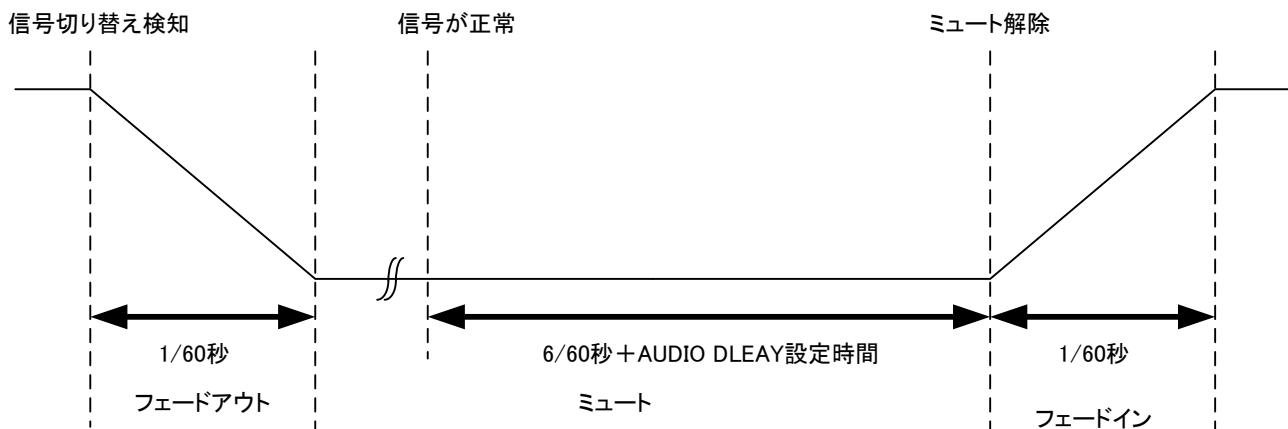
10-3. バイパス・モード入出力遅延

バイパス・モードでは、入力された SDI に同期し、最小遅延で出力します。各フォーマットごとの入出力遅延を以下に示します。

入力フォーマット	入出力遅延(us)	入力フォーマット	入出力遅延(us)
525i59	14.815	625i50	14.815
720p60	11.475	720p59	11.459
720p50	11.502	720p30	11.475
720p29	11.473	720p25	11.473
720p24	11.461	720p23	11.473
1080i60	5.428	1080i59	5.420
1080i50	11.569	1080p30	5.428
1080p29	5.447	1080p25	11.475
1080p24	13.481	1080p23	13.508
1080psf24	13.481	1080psf23	13.508
1080p60A	2.707	1080p59A	2.743
1080p50A	5.825	1080p60B	5.407
1080p59B	5.406	1080p50B	11.515

10-4. AAM モードでの音声ミュート時間

AAM（音声自動ミュート）モードでは、入力信号の切り替えを検知すると、1/60秒間（約1フィールド）でフェードアウトし、信号が正常になってから6/60秒（約3フレーム）間とAUDIO DELAY で設定した時間ミュート処理を行い、1/60秒間でフェードインし、通常状態に戻ります。



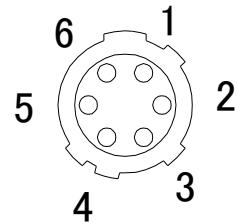
フォーマットによらず一定時間ミュート処理を行います。

1.1. コネクター ピンアサイン表

PANEL ヒロセ電機 HR10A-7R-6S

1	GND	3	RXD+	5	TXD+
2	TXD-	4	GND	6	RXD-

TXD+/TXD-, RXD+/RXD- RS-422シリアル



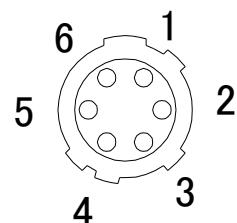
REM ヒロセ電機 HR10A-7R-6S

1	GND	3	GPI2	5	GPO1
2	GPI1	4	+12V OUT	6	GPO2

GPI1～GPI2 メーカ接点入力(+3.3Vロジック回路受け)

GPO1～GPO2 オープンコレクター出力(24V/30mA MAX)

+12V OUT +12V(100mA MAX)



1.2. 定格および電気的特性

SDI 入力	対応フォーマット(映像)	3G-SDI 1080/ 60p,59.94p,50p (レベル A/B) 1080/ 60i,59.94i,50i,30p,29.97p,25p,24p, 23.98p,30psf,29.97psf,25psf,24psf, 23.98psf (レベル A/B) ※1 HD-SDI 1080/ 60i,59.94i,50i,30p,29.97p,25p,24p, 23.98p,24psf,23.98psf 720/ 60p,59.94p,50p,30p,29.97p,25p, 24p,23.98p SD-SDI 525/59i, 625/50i ※1:RGB444 10/12 ビット, YCbCr422 12bit, YCbCr444 10/12 ビットに対応
	対応フォーマット(音声)	48kHz sampling 20bit,24bit 同期音声のみ
	コネクター	BNCx1
	入力レベル、インピーダンス	0.8 Vp-p 75 Ω
SDI 出力	対応フォーマット(映像)	3G-SDI 1080/ 60p,59.94p,50p (レベル A/B) 1080/ 60i,59.94i,50i,30p,29.97p,25p,24p, 23.98p,30psf,29.97psf,25psf,24psf, 23.98psf (レベル A/B) ※1 HD-SDI 1080/ 60i,59.94i,50i,30p,29.97p,25p,24p, 23.98p,24psf,23.98psf 720/ 60p,59.94p,50p,30p,29.97p,25p, 24p,23.98p SD-SDI 525/59i, 625/50i ※1:RGB444 10/12 ビット, YCbCr422 12bit, YCbCr444 10/12 ビットに対応
	対応フォーマット(音声)	48kHz sampling SD 20bit,3G/HD 24bit
	コネクター	BNCx4
	出力レベル、インピーダンス	0.8 Vp-p 75 Ω
リファレンス入力	コネクター	DFS5101 なし DFS5102 BNCx2 (ループスルー含む)
	入力信号、インピーダンス	アナログブラックバースト/3 値シンク 75Ω
PANEL	コネクター	小型丸形コネクター6 ピンx1 ※DFS5102 のみ
リモート入出力	コネクター	小型丸形コネクター6 ピンx1 ※DFS5102 のみ
占有スロット数	DFS5101	1 スロット
	DFS5102	2 スロット

AVDL モード引き込み範囲	SD-SDI	MIN 約-13us、MAX 約-637us
	HD-SDI	MIN 約-39us、MAX 約-223us
	3G-SDI レベル A	MIN 約-5us、MAX 約-148us
	3G-SDI レベル B	MIN 約-10us、MAX 約-296us
フレームシンクロナイズ・モード及び AAM モード引き込み範囲	引き込み範囲に制限なし	
AVDL モード入出力遅延	SD-SDI	MIN 約 12us、MAX 約 642us
	HD-SDI	MIN 約 4.7us、MAX 約 556us
	3G-SDI レベル A	MIN 約 2.3us、MAX 約 178us
	3G-SDI レベル B	MIN 約 4.5us、MAX 約 356us
フレームシンクロナイズ・モード及び AAM モード入出力遅延	SD-SDI	MIN 約 3H、MAX 約 1 フレーム+2H
	HD-SDI(720p)	MIN 約 3H、MAX 約 1 フレーム+2H
	HD-SDI(1080)	MIN 約 4H、MAX 約 1 フレーム+3H
	3G-SDI レベル A	MIN 約 4H、MAX 約 1 フレーム+3H
	3G-SDI レベル B	MIN 約 8H、MAX 約 2 フレーム+6H
バイパス・モード入出力遅延	SD-SDI	MIN 約 14.8us
	HD-SDI(720p)	MIN 約 11.5us
	HD-SDI(1080)	MIN 約 5.4~13.5us
	3G-SDI レベル A	MIN 約 2.7us~5.8us
	3G-SDI レベル B	MIN 約 5.4us~11.5us
音声遅延	0ms~2000ms、1ms 単位で設定可能(全モード)	
AAM モードでの音声ミュート時間	8/60 秒+AUDIO DELAY 設定時間(フェード時間含む)	
出力位相調範囲	水平方向：+/-1920 ピクセル、垂直方向：+/- 600H	
動作環境	0 ℃ ~ 40 ℃ 20 % ~ 85 % (結露無きこと)	
電源	DC 12V	
消費電力	DFS5101	9.5W
	DFS5102	10.4W
外形寸法	398.5 x 88 mm	
質量	DFS5101	200g
	DFS5102	250g
オプション	スーパーインポーズ機能	

1 3 . お問い合わせ

株式会社 コスミックエンジニアリング

Address : 〒191-0065 東京都日野市旭が丘 3-2-11

TEL: 042-586-2933 (代表)

042-586-2650 (SI 部)

FAX : 042-584-0314

URL: <https://www.cosmic-eng.co.jp/>

E-Mail: c1000@cosmic-eng.co.jp